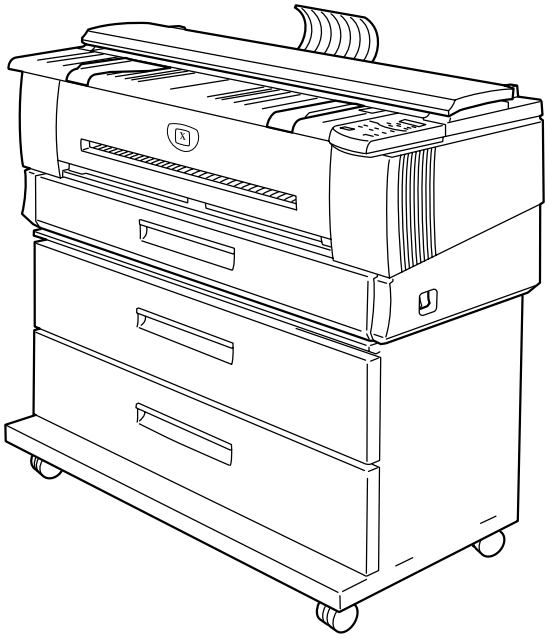
DocuWide 2051
DocuWide 2051MF

補足説明書



「AIX」は、IBM 社の商標です。
「UNIX」は、米国 X/Open Company Limited がライセンスしている
米国ならびに他の国における登録商標です。
「Solaris」「SunOS」「Sun Workstation」は、米国サンマイクロシステムズ社の登録商標または商標です。
「MS-DOS」「Microsoft」「Windows」「Windows NT」は、米国 Microsoft Corporation(マイクロソフト社)
の米国およびその他の国における登録商標です。
「HP-GL」「HP-GL/2」「HP RTL」は、ヒューレットパッカード社の登録商標です。
上記以外の会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意
① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。

「XEROX」「The Document Company」「DocuWide」は登録商標です。

はじめに

このたびは、DocuWide 2051MF/DocuWide 2051 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、主にシリアル / セントロニクス接続されているユーザーを対象に、プリント機能の操作方法、各種設定方法、および使用上の注意事項などについて記載しています。

本機の性能を十分に発揮させ効果的にご利用いただくために、本書を最後までお読みください。本書は、読んだあとも必ず保管してください。本機をご使用中に、操作でわからないことや、不具合が出たときに読み直してご活用いただけます。

2004 年 7 月
富士ゼロックス株式会社

マニュアル体系

DocuWide 2051 シリーズでは、以下のマニュアルを用意しています。使用目的に合わせてご利用ください。

■取扱説明書

コピー / プリント / スキャン機能の操作方法、紙づまりの処置方法、日常の管理方法、各種設定方法、および使用上の注意事項などについて説明しています。

■補足説明書 (本書)

指定 URL よりダウンロードしてお使いください。
(ダウンロード先 : http// : http://download.fujixerox.co.jp/dids_index.html)
主にシリアル / セントロニクス接続されているユーザー向けの説明書です。プリンターに関する各種設定 (設置、ジョブの操作、論理プリンターの設定、UNIX システムで ftp コマンドや lpr コマンドを使ったプリント方法)や注意事項などを説明しています。

■ソフトウエアマニュアル

次のマニュアルは、次の URL からダウンロードしてお使いください。
(ダウンロード先 : http://download.fujixerox.co.jp/dids_index.html)

DocuWide Plot Driver ユーザーズガイド	Windows® 用ドライバーの機能と操作、および注意制限事項について説明しています。
Wide Scanner TWAIN Source ユーザーズガイド	Wide Scanner TWAIN の機能と操作について説明しています。

次のマニュアルは、商品に同梱されています。

BT2DH コンバータ操作説明書	BT2DH コンバータの機能と操作について説明しています。
BT-PlotAssistant ユーザーズガイド	BT-PlotAssistant の機能と操作について説明しています。
DW-Scan Service 操作説明書	DW スキャンサービスの機能と操作について説明しています。

本書の読み方

■本書の構成

本書は、次の章と付録から成り立っています。

第 1 章 操作パネルからの設定

操作パネルから各種パラメーターを設定する方法について説明しています。

第 2 章 イーサネットプリントサービス（UNIX の場合）

ftp コマンドや lpr コマンドを利用してプリントするときの、ホストの登録方法やコマンドの詳細について説明しています。

付録

コネクターのピンアサインについて説明しています。

プリントの基本操作、初期設定などは、『取扱説明書』を参照してください。

■本書の表記

本書では、以下のような記号を用いて表現しています。

< > キー	操作パネル上のキーを表します。 (例) < セット > キーを押します。
[　　]	画面に表示されるメニューや項目を表します。 (例) [オン]、または [オフ] を選択します。 [ジョブ名]、[所有者]、[理由] の順に表示されます。
「　　」	同一マニュアル内の参照箇所を表します。 また、メッセージも表します。 (例) 「3.2　プリントサービス」を参照してください。 「漢字フォントが指定されていません。」と表示されます。
『　　』	ほかのマニュアルの参照先マニュアル名を表します。 (例) 『取扱説明書』を参照してください。
注記	操作に関する注意事項を表します。
補足	必要に応じて読んでいただきたい情報を表します。
参照	参照先を表します。
例	例を表します。

目次

第 1 章　操作パネルからの設定

1.1　通信パラメーターの設定 2
設定手順 4
1.2　論理プリンターの設定 7
ヨウシケイレツ 9
キホンペン 10
キホンペン（ハンイ） 12
FX ペンシヨウ 13
FX ペンハバ 14
FX キホンペン 14
FX キホンペン（ハンイ） 15
ショリゲンゴ 15
ペンオプション 16
TIFF オプション 16
CALS オプション 17
インサツジョウケン 17
プロットエリア 18
メッセージオプション 21
ペーパーマージン 23
ヨウシマッピング 24
ブンカツインサツ 27
シュツリョクユウセンド 28
カイテンインサツ 28
スキップコマンドショリ 29
EOP コマンドショリ 29
インサツイロシテイ 30
インサツマイスウ 30
ニュウリョクレンケツスウ 31
シュツリョクレンケツスウ 32
ヨウシシュベツ 34
ユーザーテイギサイズ 34
サイズユウセンモード 36
操作パネルの操作 37
デフォルト論理プリンターの設定 52
設定内容のプリント 53
1.3　各種ログの管理 54
ジョブログの管理 54
エラーログの管理 56
入力ログの管理 58

1.4 データの格納方法 60
1.5 テストプリント 61
1.6 登録ファイルの管理 62

第 2 章 イーサネットプリントサービス（UNIX の場合）

2.1 イーサネットプリントサービスの概要 66
2.2 DocuWide 2051 プリンターシステムの登録 67
ホストの登録 67
リモートプリンターの登録 68
2.3 ftp コマンドによるプリント 70
プリント 70
その他のサブコマンド 73
メッセージ一覧 74
2.4 lp/lpr コマンドによるプリント 79
プリント（lpr コマンド） 79
プリント（lp コマンド）（SunOS 5.x の場合） 81
状態表示 (lpq コマンド) 82
取り消し (lprm コマンド) 84
メッセージ一覧 87

付 録

付録 1 コネクター仕様 90

索引 93

第 1 章

操作パネルからの設定

1.1 通信パラメーターの設定

DocuWide 2051/DocuWide 2051MF でプリントするには、まずパーソナルコンピューター側と DocuWide 2051/DocuWide 2051MF を接続する必要があります。
ここでは、シリアル (SERIAL)、セントロニクス (CENTRO)（オプション）を操作パネルで設定する手順を説明します。
設定したパラメーターの内容は、プリントして確認できます。

注記 設置時には操作パネルで通信パラメーターを設定します。ネットワークに接続されていない場合は Print Services on Web を使用できません。

参照 ネットワークに接続している場合、シリアル、セントロニクスの設定は Print Serviecs on Web からできます。Print Services on Web の操作については Print Services on Web のヘルプを参照してください。

シリアル (SERIAL)

次の通信パラメーターを設定します。

メニュー項目	説明
デフォルトパーサー	入力データフォーマットの指定がないときに処理するパーサーです。シリアルでは [HPGL] です。
ロンリプリンタバンゴウ	論理プリンター番号を入力します。
H-Shake	ハンドシェイクを、次の項目から選択します。 初期値は［XON/XOFF］です。 ［**XON/XOFF**］ XON/XOFF プロトコルを使ったハンドシェイク ［**HARDWARE**］ ハードウエアを使ったハンドシェイク ［**ENQ-ACK**］ ENQ-ACK プロトコルを使ったハンドシェイク ［**SOFTWARE**］ アプリケーションプログラムで行うハンドシェイク
BaudRate	通信速度を、［**300**］、［**1200**］、［**2400**］、［**4800**］、［**9600**］、［**19200**］から選択します。 初期値は［9600］です。
パリティビット	パリティビットを、［**NONE**］（なし）、［**EVEN**］（偶数）、［**ODD**］（奇数）から選択します。 初期値は［EVEN］です。
データビット	データビット長を、［**7_BITS**］、［**8_BITS**］から選択します。 初期値は［7_BITS］です。
ストップビット	ストップビット長を［**1_BITS**］、［**2_BITS**］から選択します。 初期値は［1_BITS］です。

メニュー項目	説明
EOP タイムアウト	［有効 ］にした場合はタイムアウト値を、1 ～ 255 秒の範囲で入力します。 初期値は［10 秒］です。
シュツリョクオウトウ	出力応答の［**有効**］、［**無効**］を設定します。 ホスト側からプリンター側へのデータ転送中に、プリンター側から応答が必要な場合は［有効］にします。 初期値は［無効］です。
ページクギリ	ページ区切りを設定します。初期値は［無効］です。 ［**有効**］　ファイルの途中でもデータの終了認識を行うコマンドを受信したら、変換処理を開始します。 ［**無効**］　タイムアウトになるまでハードディスク内にスプールします。

補足 タイムアウト値は、255 より大きい値を設定すると、自動的に 255 に設定されます。

セントロニクス (CENTRO)（オプション）

次の通信パラメーターを設定します。

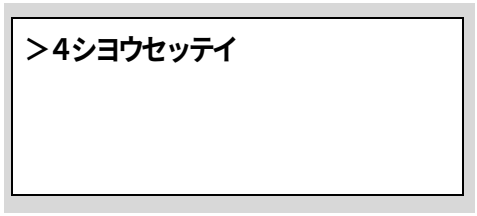
メニュー項目	説明
デフォルトパーサー	入力データフォーマットの指定がないときに処理するパーサーです。セントロニクスでは [HPGL] です。
ロンリプリンタバンゴウ	論理プリンター番号を入力します。
Ack Mode	Ack モードを、［**MODE0**］、［**MODE1**］、［**MODE2**］、［**MODE3**］から選択します。 初期値は［MODE0］です。
DMA タイムアウト	データ入力時のタイムアウト値を、1 ～ 255 秒の範囲で入力します。 初期値は［5 秒］です。
EOP タイムアウト	[有効] にした場合はタイムアウト値を、1 ～ 255 秒の範囲で入力します。 初期値は［10 秒］です
ページクギリ	ページ区切りを設定します。初期値は［無効］です。 ［**有効**］　ファイルの途中でもデータの終了認識を行うコマンドを受信したら、変換処理を開始します。 ［**無効**］　タイムアウトになるまでハードディスク内にスプールします。

補足
- タイムアウト値は、255 より大きい値を設定すると、自動的に 255 に設定されます。
- ［Ack Mode］、［DMA タイムアウト］は値を変更しても、動作は変わりません。
- ［Ack Mode］は操作パネルでのみ変更できます。

設定手順

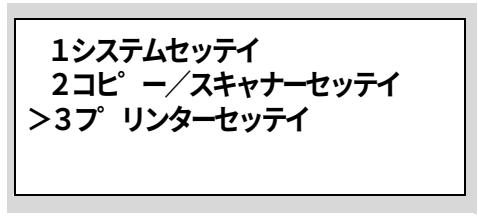
ここでは操作パネルから設定する手順を説明します。

注記 **設定した内容は、再起動後に有効になります。**

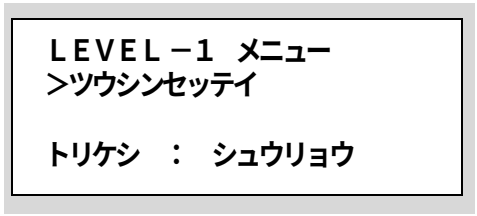


1 操作パネルの〈仕様設定 / メーター確認〉キーを押します。

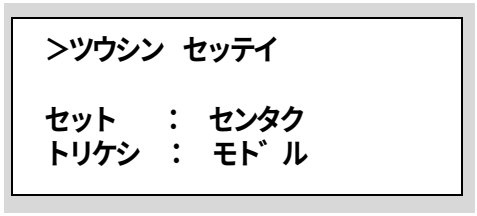
2 [4 シヨウセッテイ] を選択し、〈セット〉キーを押します。



3 [3 プリンターセッテイ] を選択し、〈セット〉キーを押します。



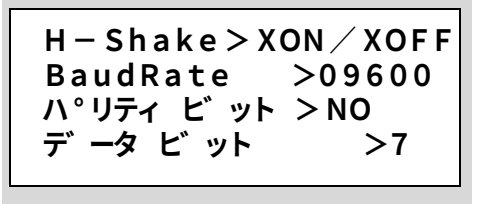
4 〈▼〉〈▲〉キーで［ツウシンセッテイ］を選択し、〈セット〉キーを押します。



5 項目設定メニューで［ツウシンセッテイ］を表示した状態で、〈セット〉キーを押します。

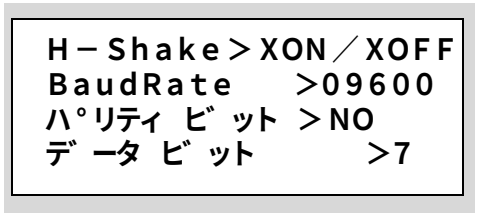
6 [SERIAL] または［CENTRO］を〈▼〉〈▲〉キーで選択し、〈セット〉キーを押します。[SERIAL]、[CENTRO]、[E-NET]、[モドル] の順に表示されます。

補足 オプションのセントロニクスが装備されていないときは [CENTRO] は表示されません。

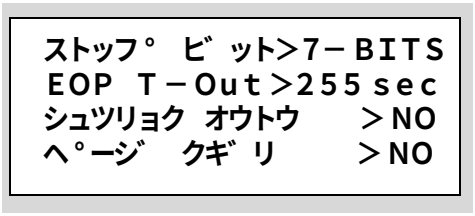


7 設定する項目を〈▼〉〈▲〉キーで選択します。

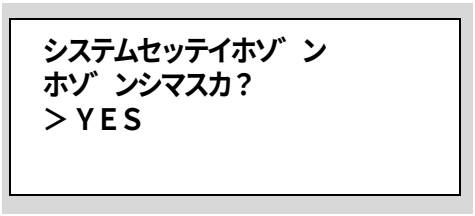
8 設定する項目を選択し、〈セット〉キーを押します。



9 パラメーターを〈◀ 〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。



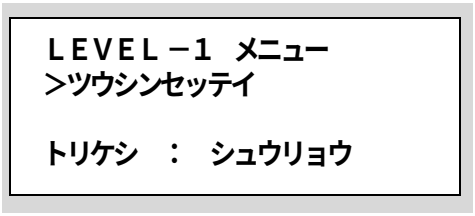
10 一番最後のパラメーターを選択し、〈▼〉キーを押すと設定内容の確認画面になります。



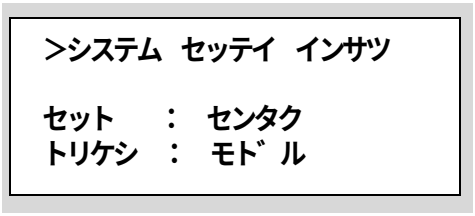
11 〈▶〉キーで［NO]、[ＹＥＳ］を選択します。
設定を変更した場合は ［ＹＥＳ］を選択し、〈セット〉キーを押します。

設定内容のプリント

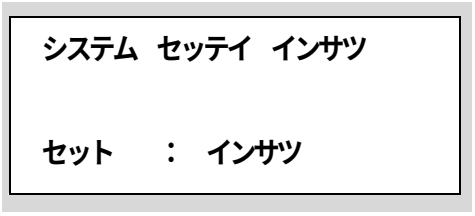
設定した内容はプリントして確認できます。操作の流れは、次のようになります。



1 LEVEL-1 メニューで［ツウシンセッテイ］が表示された状態で、〈セット〉キーを押します。



2 項目設定メニューで［システムセッテイインサツ］を表示した状態で、〈セット〉キーを押します。



3 システムセッテイインサツ画面で、〈セット〉キーを押します。

4 設定内容がプリントされます。
出力実行中は「プリントシテイマス」が表示されます。

次に設定内容のプリント例を示します。

```
[PLOTTER CONFIGURATION]          [DocuWide 2050/2051 Version 2.2.0]

[SERIAL]          BAUD_RATE          =9600
                  DATA_BIT           =7
                  STOP_BIT           =1
                  PARITY             =EVEN
                  HANDSHAKE          =XON/XOFF
                  EOP_TIMEOUT_VALUE  =10
                  OUTPUT RESPONSE    =NO
                  JOB SEPARATION     =NO

[E-NET]           LAYER              =AUTO
                  DEFAULT PARSER     =HPGL
                  IP_ADDRESS         =xxx.xxx.xxx.xxx
                  MASK_VALUE         =255.255.255.0
                  NET_ADDRESS        =00012900A7CD
                  DYNAMIC ROUTING    =DISABLE
                  STATIC ROUTING     =ENABLE

[APPLE TALK]      PRINTER NAME       =DocuWide2050/2051
                  ZONE NAME          =*
                  TYPE NAME          =LaserWriter

[H/W CONFIG]      RAM TOTAL          =191MB
                  SEGMENT MEMORY     = 12MB
                  WORK MEMORY        =  8MB
                  FRAME MEMORY       =113MB
                  HARDDISK           = ST320410A

[PLOT PARAMETER]  SPOOL_ELEMENT      =Overflow_Element
```

1.2 論理プリンターの設定

操作パネルから、論理プリンターに関する次の操作を行います。

- 論理プリンターの設定
- デフォルト論理プリンターの設定
- 設定内容のプリント

設定項目一覧

論理プリンターには、次の内容を設定できます。データフォーマットごとに、設定できる項目が異なります。

設定する項目	説明	対象	Print Services on Web の対応項目
ヨウシケイレツ	入力、出力、印刷用紙の系列を設定します。 **注記 B 系列の用紙を使用する場合は、オプションのB系列対応キットが必要です。**	すべて	ペーパーグループ
キホンペン	HPGL データのペン属性を設定します。	HPGL	Define Single Pen
キホンペン（ハンイ）	HPGL データのペン属性をまとめて設定します。	HPGL	Define Multi Pen
FX ペンシヨウ	VCGL データのペンの終端処理、色を設定します。	FXNATIVE	FXNATIVEペンスタイル
FX ペンハバ	VCGL データのペン幅を設定します。	FXNATIVE	FXNATIVE WIDTH
FX キホンペン	VRF データのペン属性を設定します。	FXNATIVE	FXNATIVE Define Pen
FX キホンペン（ハンイ）	VRF データのペン属性をまとめて設定します。	FXNATIVE	FXNATIVE Def Multi Pen
ショリゲンゴ	HPGL データの処理言語を選択します。	HPGL	エミュレーション
ペンオプション	拡大 / 縮小時にペン幅も変更するかどうかを設定します。	HPGL、FXNATIVE	ペンオプション
TIFF オプション	プリントデータのソート、出力順、解像度を設定します。	TIFF	TIFF オプション
CALS オプション	ROTATE コマンドを無効にするかどうかを設定します。	CALS	CALS オプション
インサツジョウケン	自動拡大 / 縮小、ミラー処理、90°回転を設定します。	すべて	トランスフォーム
プロットエリア	プリント範囲、センタリング、オフセットを設定します。	すべて **(注 1)**	プロットエリア
メッセージオプション	メッセージや日付を出力するかどうかを設定します。	すべて	メッセージオプション
ペーパーマージン	上下左右のマージン値を設定します。	すべて	ペーパーマージン

設定する項目	説明	対象	Print Services on Web の対応項目
ヨウシマッピング	サイズマッピング、およびペーパーマッピングを設定します。	すべて	サイズ / ペーパーマッピング
ブンカツインサツ	分割印刷を設定します。	すべて	図面分割
シュツリョクユウセンド	プリントの優先度を設定します。	すべて	優先度
カイテンインサツ	回転プリント時の回転方向を設定します。	すべて	図面回転方向
スキップコマンドショリ	PS コマンドの有効 / 無効を設定します。	HPGL	スキップコマンド
EOP コマンドショリ	EOP コマンドの有効 / 無効を設定します。	HPGL	EOP コマンド
インサツイロシテイ	白色描画機能の有効 / 無効を設定します。	HPGL、FXNATIVE	カラーオプション
インサツマイスウ	プリントする枚数を設定します。	すべて	コピーカウント
ニュウリョクレンケツスウ	入力サイズを決定します。	すべて	インプットオプション
シュツリョクレンケツスウ	出力サイズを決定します。前後余白も設定できます。	すべて	アウトプットオプション
ヨウシシュベツ	用紙種別を設定します。	すべて	用紙タイプ
ユーザーテイギサイズ	ユーザー定義サイズを設定します。	すべて	Define Size
サイズユウセンモード	定形サイズを超えた場合、定形優先か長尺優先かを設定します。	すべて	Size Recognition
ヘンシュウナイヨウホゾン	論理プリンターの内容を他の論理プリンターにコピーします。	すべて	-

(注1) TIFF、CALS の場合、プリント範囲は指定できません。

ヨウシケイレツ

入力、出力、印刷用紙の用紙系列を設定します。
それぞれ異なる系列を設定することもできます。

注記 **JIS B系列の用紙を使用する場合は、オプションのB系列対応キットが必要です。**

設定項目

次の項目を設定します。初期値は、すべて［JIS A系］です。

メニュー項目	説明
ニュウリョク	入力サイズを判定するときの用紙系列を設定します。 ［**JIS A系**］、［**JIS B系**］から選択します。
シュツリョク	出力サイズを判定するときの用紙系列を設定します。 ［**JIS A系**］、［**JIS B系**］から選択します。 補足 この設定は、パーソナルコンピューター側の指定が優先されます。
インサツヨウシ	出力するロール紙 / 用紙を決めるときの系列を設定します。 ［**JIS A系**］、［**JIS B系**］から選択します。

補足 **B系列対応キット**を搭載していない場合は［JIS B］は表示しません。

ヨウシケイレツで扱うことができる用紙は、次のとおりです。

- **入力用紙系列、出力用紙系列の場合**

用紙系列	定形
JIS A系	A0 ～ A4、U0 ～ U4、A0L ～ A4L
JIS B系	B0 ～ B4、BU0 ～ BU4、B0L ～ B4L

- **印刷用紙系列の場合**

用紙系列	定形	ユーザー定義サイズ	長尺
JIS A系	A1 ～ A4	A1 ～ A3	A1 ～ A3
JIS B系	B2、B3	B2	B2

キホンペン

HPGL データの場合に、線の幅や色などペン属性を設定します。

(補足) この設定は、HPGL データだけ有効です。

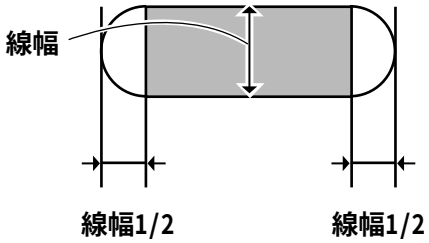
設定項目

次の項目を設定します。

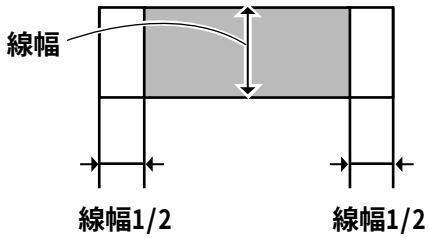
メニュー項目	説明
ペン No.	ペン番号を 0 ～ 98 の範囲で設定します。
ハバ	線の幅を 0 ～ 511 の範囲で設定します。 1 ＝ 0.0635mm です。実際の線幅は、線幅を n とすると、n × 0.0635mm となります。初期値は［2］です。 **注記　線幅に「1」を指定すると、文字がかすれることがあります。**
イロ	線の色を、［**BLACK**］（黒）、［**WHITE**］（白）から選択します。 初期値は［BLACK］です。
シュウタン	線の終端処理を［**SQUARE**］、［**ROUND**］、［**EXTEND**］、［**TRIANGLE**］から選択します。初期値は［SQUARE］です。 それぞれの詳細は、次ページの図を参照してください。
セツゾク	線の接続部処理を［**UNJOINT**］、［**BEVEL**］、［**MITER**］、［**ROUND**］から選択します。初期値は［MITER］です。 それぞれの詳細は、次ページの図を参照してください。 (補足) この設定は、HP-GL または HP-GL/2 の EA、EP、ER、FP、RA、RR、PE コマンドで有効です。

終端処理

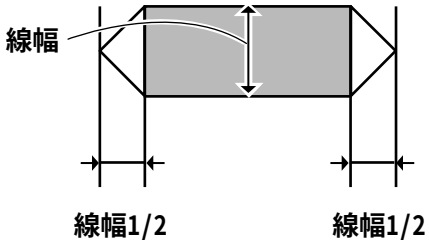
SQUARE
通常の描画方法です。



ROUND
線幅の 1/2 の半径で両端を丸めます。

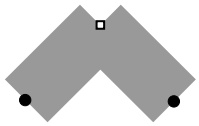


EXTEND
線幅分の 1/2 の長さを両端に追加します。

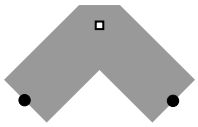


TRIANGLE
線幅分の 1/2 の長さで両端を三角形化します。

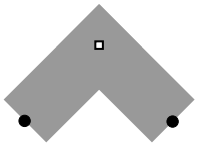
接続部処理



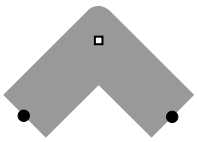
UNJOINT
接続部の処理をしません。



BEVEL
1 つの線の外側の端と、もう一方の線の外側の端を接合します。



MITER
各線の外側の端から延びた 2 本の線がぶつかるように修正します。



ROUND
接続部を丸めて接合します。

キホンペン（ハンイ）

HPGL データの場合に、線の幅や色などペン属性をまとめて設定します。範囲指定したペン番号に対して、同じ内容が設定されます。

補足 この設定は、HPGL データだけ有効です。

設定項目

次の項目を設定します。

メニュー項目	説明
ペン No.	ペンの設定範囲を、開始番号と終了番号で指定します。0 ～ 98 の範囲で設定します。
ハバ	線の幅を 0 ～ 511 の範囲で設定します。 1 ＝ 0.0635mm です。実際の線幅は、線幅を n とすると、n × 0.0635mm となります。初期値は［2］です。 **注記 線幅に「1」を指定すると、文字がかすれることがあります。**
イロ	線の色を、［**BLACK**］（黒）、［**WHITE**］（白）から選択します。初期値は［BLACK］です。
シュウタン	線の終端処理を［**SQUARE**］、［**ROUND**］、［**EXTEND**］、［**TRIANGLE**］から選択します。初期値は［SQUARE］です。 それぞれの詳細は、前述の「終端処理」(p11) を参照してください。
セツゾク	線の接続部処理を［**UNJOINT**］、［**BEVEL**］、［**MITER**］、［**ROUND**］から選択します。初期値は［MITER］です。 それぞれの詳細は、前述の「接続部処理」(p11) を参照してください。 補足 この設定は、HP-GL または HP-GL/2 の EA、EP、ER、FP、RA、RR、PE コマンドで有効です。

FX ペンシヨウ

VCGL データの場合に、ペン仕様を設定します。

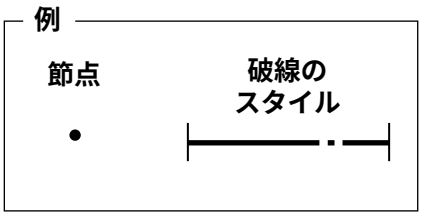
(補足) この設定は、FXNATIVE の VCGL データだけ有効です。

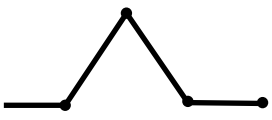
設定項目

次の項目を設定します。

メニュー項目	説明
セツゾク	線の接続部処理を [**UNJOINT**]、[**BEVEL**]、[**MITER**]、[**ROUND**] から選択します。初期値は［UNJOINT］です。 それぞれの詳細は、前述の「接続部処理」(p11) を参照してください。 (補足) この設定は、ポリライン、ポリゴン、レクタングルを描くときに有効です。
シュウタン	線の終端処理を [**SQUARE**]、[**ROUND**]、[**EXTEND**]、[**TRIANGLE**] から選択します。初期値は［SQUARE］です。 それぞれの詳細は、前述の「終端処理」(p11) を参照してください。
ハセン	破線の描画処理を［**NO WARP**]、［**WARP**］から選択します。初期値は［NO WARP］です。

破線のスタイル

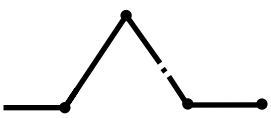




NO WARP

各節点は、破線の始点となります。

例に示すような破線のスタイルで描画すると、左図のような実線になります。これは、破線の間隔部が現れる前に節点が現れ、改めてその点を始点として破線を描画するためです。



WARP

各節点は、破線の通過点となります。

例に示すような破線のスタイルで描画すると、左図のような破線になります。

FX ペンハバ

VCGL データの場合に、ペンの幅を設定します。

補足 この設定は、FXNATIVE の VCGL データだけ有効です。

設定項目

次の項目を設定します。

メニュー項目	説明
ハバ	線の幅を 0 ～ 511 の範囲で設定します。 1 ＝ 0.0635mm です。実際の線幅は、線幅を n とすると、n × 0.0635mm となります。初期値は［2］です。 **注記 線幅に「1」を指定すると、文字がかすれることがあります。**

FX キホンペン

VRF データの場合に、ペン属性を設定します。

補足 この設定は、FXNATIVE の VRF データだけ有効です。

設定項目

次の項目を設定します。

メニュー項目	説明
ペン No.	ペン番号を 0 ～ 31 の範囲で設定します。
シュウタン	線の終端処理を［**SQUARE**］、［**ROUND**］、［**EXTEND**］、［**TRIANGLE**］から選択します。初期値は［SQUARE］です。 それぞれの詳細は、前述の「終端処理」(p11) を参照してください。
イロ	線の色を、［**BLACK**］（黒）、［**WHITE**］（白）から選択します。初期値は［BLACK］です。

補足 Print Services on Web の設定画面では、上記の項目以外に［幅］も設定できますが、線幅の値は VRF データに含まれている線幅指定データが優先されます。Web の設定画面で設定しても、結果は変わりません。

FX キホンペン（ハンイ）

VRF データの場合に、ペン属性をまとめて設定します。範囲指定したペン番号に対して、同じ内容が設定されます。

補足 この設定は、FXNATIVE の VRF データだけ有効です。

設定項目

次の項目を設定します。

メニュー項目	説明
ペン No.	ペンの設定範囲を、開始番号と終了番号で指定します。0 ～ 31 の範囲で設定します。
シュウタン	線の終端処理を [**SQUARE**]、[**ROUND**]、[**EXTEND**]、[**TRIANGLE**] から選択します。初期値は［SQUARE］です。 それぞれの詳細は、前述の「終端処理」(p11) を参照してください。
イロ	線の色を、［**BLACK**］（黒）、[**WHITE**］（白）から選択します。初期値は［BLACK］です。

補足 Print Services on Web の設定画面では、上記の項目以外に［幅］も設定できますが、線幅の値は VRF データに含まれている線幅指定データが優先されます。Web の設定画面で設定しても、結果は変わりません。

ショリゲンゴ

HPGL フォーマットの処理言語を設定します。

補足 この設定は、HPGL データだけ有効です。

設定項目

次の項目を設定します。

メニュー項目	説明
ショリゲンゴ	処理言語に、［**HPGL**］、**[MGL]**、［**HPGL2**］を選択します。初期値は［HPGL］です。

MGL を選択した場合は、座標単位([0.01]、[0.025] のどちらか)を設定します。

ペンオプション

拡大 / 縮小してプリントをするときに、ペンの太さも拡大 / 縮小率に合わせて変更するかどうかを設定します。

補足 この設定は、HPGL と FXNATIVE データだけ有効です。

設定項目

次の項目を設定します。

メニュー項目	説明
ペンハバヘンコウ	[**YES**] 拡大 / 縮小に合わせて、ペンの太さも変更します。 [**NO**] ペンの太さは変更しません。 初期値は［NO］です。

TIFF オプション

TIFF データの場合に、ソート、出力順、解像度の優先度を設定します。

補足 この設定は、TIFF データだけ有効です。

設定項目

次の項目を設定します。

メニュー項目	説明
シワケホウホウ	ソートして出力するかどうかを設定します。 [**YES**] ソート出力します。 [**NO**] ソート出力しません。 初期値は［NO］です。
ギャクジュン	逆順でプリントするかどうかを設定します。 [**YES**] 逆順でプリントします。 [**NO**] 正順でプリントします。 初期値は［NO］です。
DPI	優先解像度を設定します。 [**COMMAND**]TIFF データ内部の解像度を使用します。 [**MENU**] ここで設定する解像度を使用します。 初期値は［COMMAND］です。
カイゾウド	解像度の優先度を［MENU］にした場合、解像度を 30 ～ 3000(dpi) の範囲で指定します。

CALS オプション

ROTATE コマンドを有効にするか無効にするかを設定します。

(補足) この設定は、CALS データだけ有効です。

設定項目

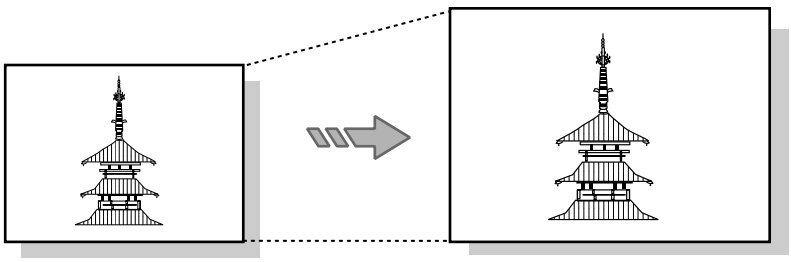
次の項目を設定します。

メニュー項目	説明
カイテンユウコウ	［**ON**］ ROTATE コマンドは有効です。 ［**OFF**］ ROTATE コマンドを無効にします。 初期値は［OFF］です。

インサツジョウケン

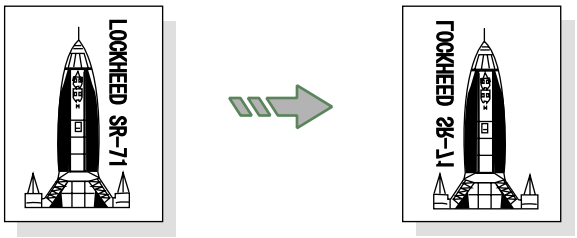
自動拡大 / 縮小、鏡像処理、90 ° 回転処理を設定します。

- **ジドウシュクシャク**



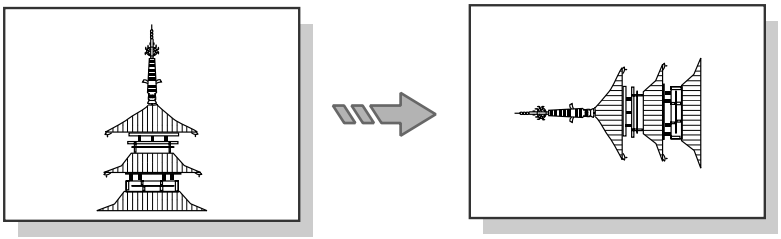
入力図面 **出力イメージ**

- **キョウゾウ**



入力図面 **出力イメージ**

- **90 ° カイテン**



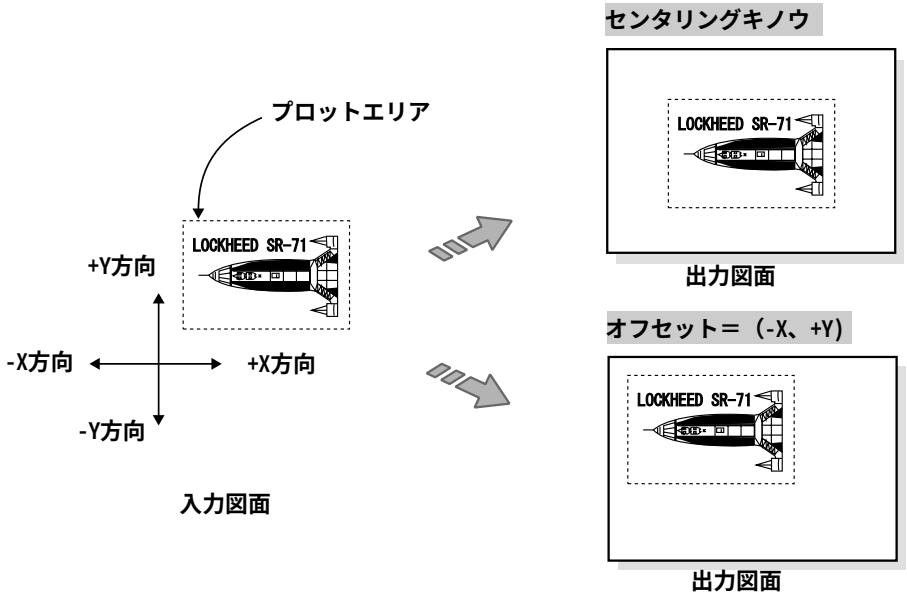
入力図面 **出力イメージ**

設定項目　次の項目を設定します。

メニュー項目	説明
ジドウシュクシャク	入力サイズと出力サイズが異なるときに、自動で拡大 / 縮小するかどうかを設定します。 ［**YES**］　出力サイズに合わせて、イメージを自動で拡大 / 縮小します。 ［**NO**］　出力サイズにかかわらず、イメージを等倍で出力します。 初期値は［YES］です。 補足　［ジドウシュクシャク］を［NO］に設定すると、サイズマッピングで拡大 / 縮小を設定しても、等倍で出力されます。
キョウゾウ	出力イメージを鏡像処理するかどうかを設定します。 ［**YES**］　鏡像処理して出力します。 ［**NO**］　通常の向きで出力します。 初期値は［NO］です。
90°カイテン	出力イメージを 90°回転して出力するかどうかを設定します。この設定は、マニュアルで回転を指示するときに使います。 ［**YES**］　イメージを左方向に 90°回転して出力します。 ［**NO**］　イメージと同方向で出力します。 初期値は［NO］です。 補足　この設定は、［インプットオプション］の［用紙サイズ］が［AUTO］以外に設定されているときに有効です。

プロットエリア

入力図面データからプリントする範囲（プロットエリア）を指定できます。そのプリント範囲を、出力用紙に対して中央部に配置したり（センタリングキノウ）、位置をずらして配置したりできます（オフセット）。
オフセットしたときにはみ出した図形は、カットされます。



設定項目

次の項目を設定します。

補足 TIFF、および CALS データの場合は、キジュンは設定できません。センタリングキノウだけ設定できます。

メニュー項目	説明
キジュン	プリントする範囲を、[**ADAPTED**]、[**FIXED**]、[**IP AREA**]、[**IW AREA**]、[**RASTER**]、[**FIRST**] から選択します。初期値は [ADAPTED] です。詳細は次ページを参照してください。 補足 • [IP AREA]、[IW AREA] は、HPGL データの場合にだけ設定できます。 • [RASTER] は、HPGL データで、[スキップコマンド] の [PS コマンド処理] が [有効] の場合にだけ設定できます。 • PSコマンドが指定された場合は、PSコマンドが優先されます。
センタリングキノウ	センタリングを設定します。 [**YES**] センタリングをして出力します。 [**NO**] センタリングしません。 初期値は [YES] です。

センタリングキノウで [NO] を設定した場合は、出力用紙サイズとオフセット量の対応テーブルを設定します。

メニュー項目	説明
ヨウシサイズ (変更不可)	オフセット位置を決めるための用紙サイズです。 ヨウシケイレツの [シュツリョク] の設定によって、表示される用紙サイズが異なります。
X ホウコウ	左右のオフセット移動量を設定します。 オフセット量は、-999 ～ 999mm の範囲で設定します。
Y ホウコウ	上下のオフセット移動量を設定します。 オフセット量は、-999 ～ 999mm の範囲で設定します。

参照 ヨウシケイレツについては、「ヨウシケイレツ」(p9) を参照してください。

キジュンの説明

以下に、キジュンの説明と例を示します。

ADAPTED 入力図面のデータ範囲をプリント範囲とします。⇒図①

FIXED (HP-GL) 入力図面の最大座標と、その座標を原点対象とした座標で囲まれる範囲を、プリント範囲とします。

FIXED (HP-GL/2) 入力図面の最大座標と原点 (0.0) で囲まれた範囲をプリント範囲とします。⇒図②

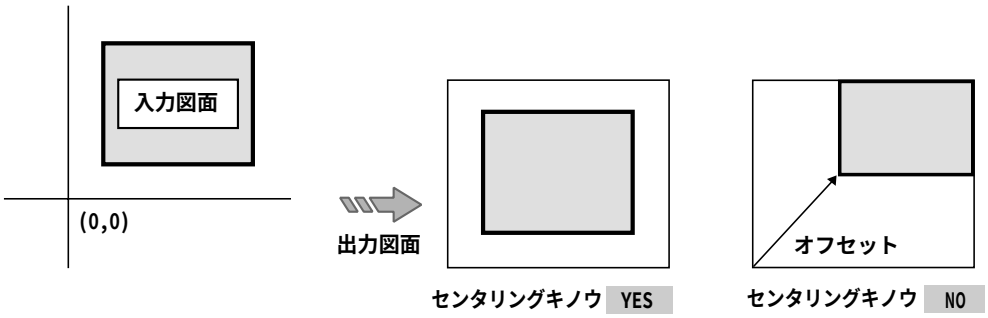
IP AREA IP コマンドで指定された範囲をプリント範囲とします。⇒図③

IW AREA IW コマンドで指定された範囲をプリント範囲とします。⇒図③

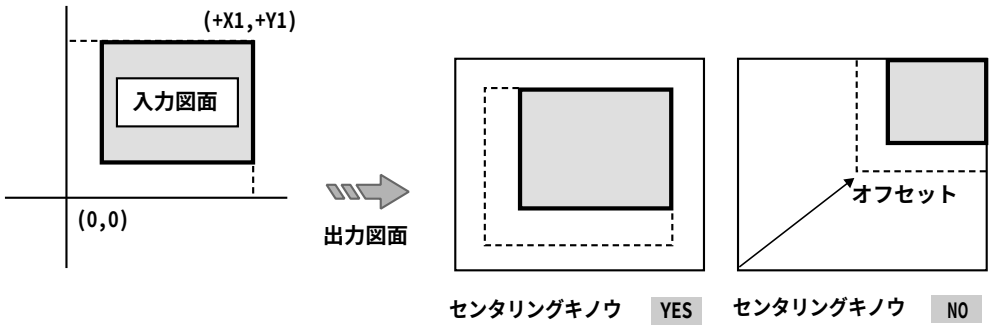
RASTER Destination Raster コマンドで指定された入力サイズに対応する範囲をプリント範囲とします。

FIRST 第一象限エリアだけをプリント範囲とします。⇒図④
第一象限以外のエリアにあるイメージはプリントされません。

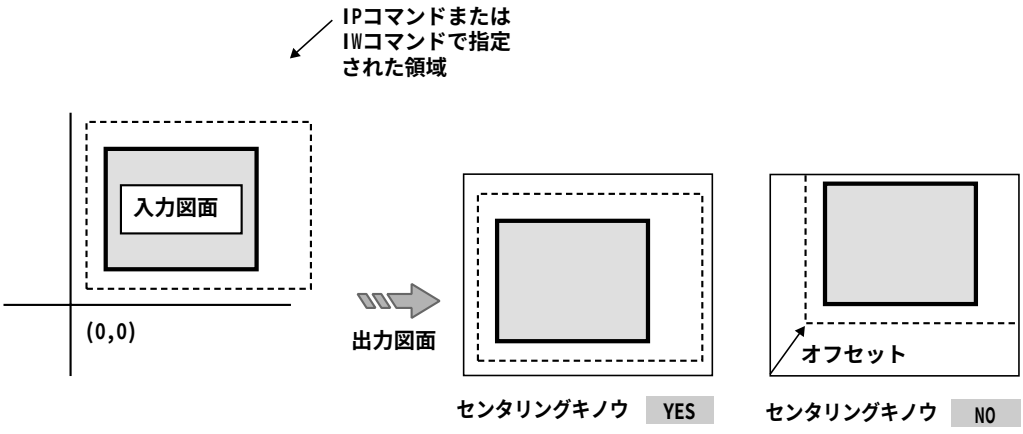
図①（ADAPTED）



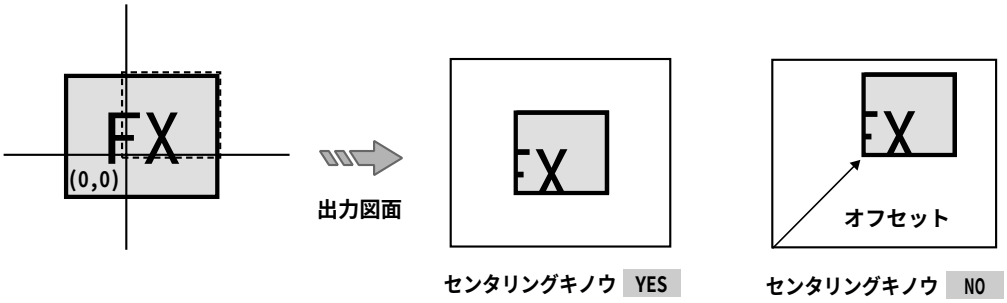
図②（FIXED）



図③（IP AREA または IW AREA）

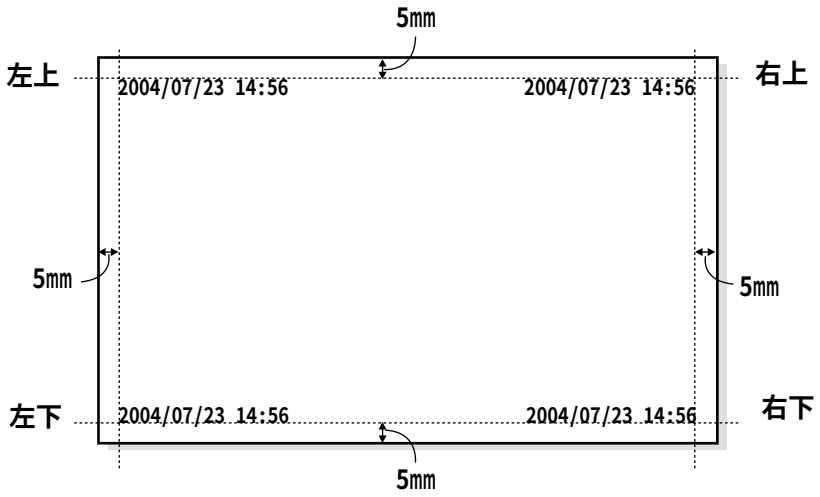


図④（FIRST)



メッセージオプション

エラーメッセージ、ラベルメッセージ、日付メッセージの描画を設定します。
メッセージの文字サイズは、拡大 / 縮小にかかわらず一定（高さ 2㎜）です。



設定項目

次の項目を設定します。

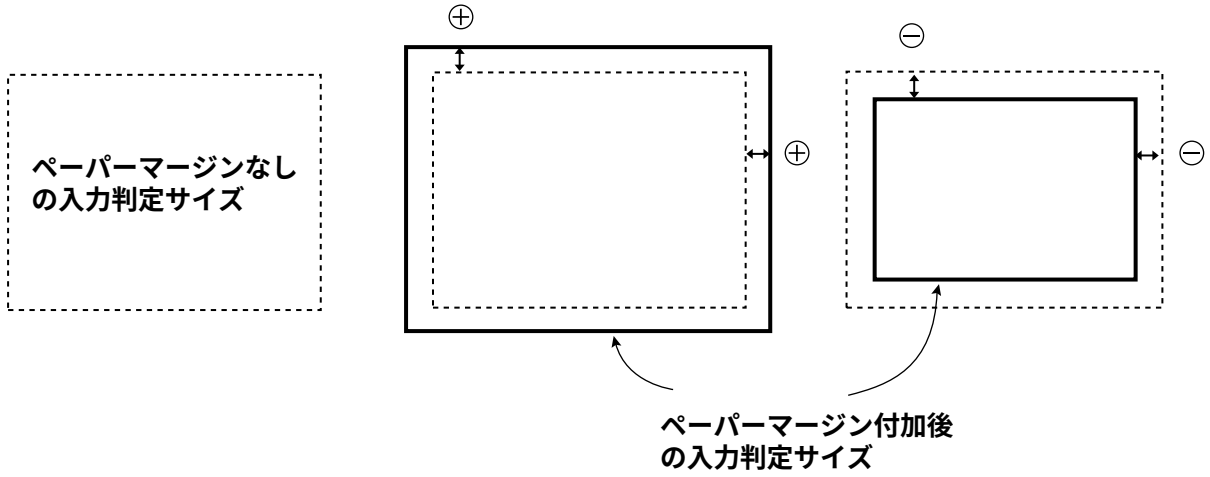
メニュー項目	説明
エラーメッセージ	エラーメッセージを表示するかどうかを設定します。 初期値は［YES］です。
ラベルメッセージ	ラベルメッセージを表示するかどうかを設定します。 初期値は［NO］です。
ヒヅケメッセージ	日付メッセージを表示するかどうかを設定します。初期値は［NO］です。 日付の形式は、「西暦 / 月 / 日 時：分」になります。 例：「2004/07/23 14:56」

メニュー項目	説明
インサツイチ	メッセージのプリント位置を設定します。 ［**U-LEFT**］ 出力画面を正面から見て左上にプリント。 ［**U-RIGHT**］ 出力画面を正面から見て右上にプリント。 ［**L-LEFT**］ 出力画面を正面から見て左下にプリント。 ［**L-RIGHT**］ 出力画面を正面から見て右下にプリント。 初期値は［U-LEFT］です。

ペーパーマージン

入力サイズを判定するための、上下左右のマージン値を設定します。
＋は外側に、－は内側にマージンを取ります。このマージンを含んだ（除いた）サイズが、入力判定サイズになります。

補足 この設定は、［インプットオプション］の［用紙サイズ］が［AUTO］のときに有効です。



設定項目

次の項目を設定します。

メニュー項目	説明
X ホウコウ	左右方向のマージン値を、-99 ～ 99mm の範囲で設定します。初期値は［5mm］です。
Y ホウコウ	上下方向のマージン値を、-99 ～ 99mm の範囲で設定します。初期値は［5mm］です。

設定例

入力データ 300 × 420mm は、ペーパーマージンの設定によって、次のように判定されます。

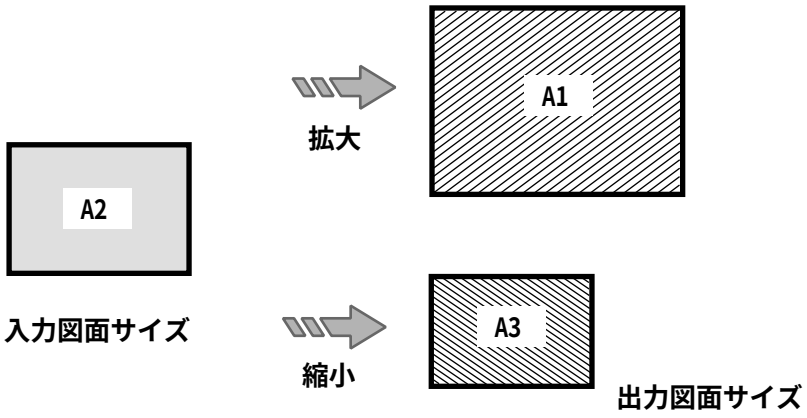
ペーパーマージン	入力判定サイズ	説明
X、Y を +10mm に設定した場合	A3：307 × 430mm A2：430 × 604mm	入力データは A3 よりも小さいので、A3 サイズに判定されます。実際の A3 用紙（297 × 420mm）に出力すると、幅 3mm 分のデータがカットされます。
X、Y を -10mm に設定した場合	A3:287 × 410mm A2:410 × 584mm	入力データは A3 よりも大きいので、A2 サイズに判定されます。実際の A2 用紙（420 × 594mm）に出力すると、上下左右に余白がつきます。

ヨウシマッピング

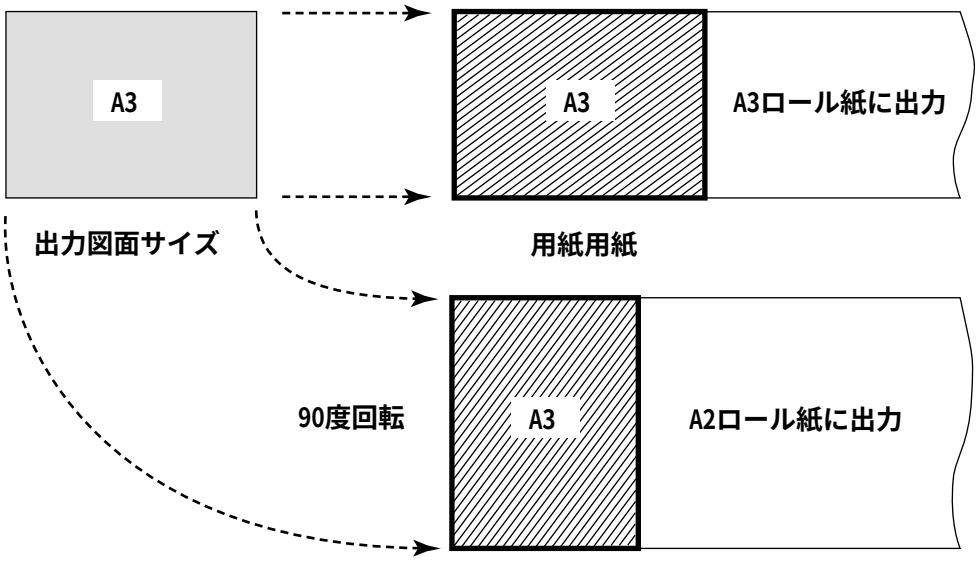
DocuWide 2051 では、定形サイズや任意に定義した入力図面サイズに対して、定形サイズや任意に定義した出力サイズに拡大 / 縮小を行うことができます。このことをサイズマッピングといいます。
また、出力サイズに対して、どのロール紙やカット紙に出力するかを指定できます。このことを、ヨウシマッピングといいます。
また、出力図面サイズに合わせて自動的に出力用紙サイズを決定することを、自動マッピングといいます。

補足
- この設定は、［シュツリョクレンケツスウ］の［ヨウシサイズ］が［AUTO］、［OTHER］、［MIX］、［MIX2］のときに有効です。
- [自動拡大 / 縮小] が [無効] になっている場合は、拡大 / 縮小されません。[自動拡大 / 縮小] については、「インサツジョウケン」(p17) を参照してください。

- **サイズマッピング**



- **ヨウシマッピング**



設定項目

次の項目を設定します。

メニュー項目	説明
ニュウリョクサイズ	［シュツリョクサイズ］を設定する場合、この値は入力サイズを表します。 ［ヨウシサイズ］を設定する場合、この値は出力サイズを表します。 ヨウシケイレツの［ニュウリョク］の設定によって、表示される用紙サイズが異なります。
シュツリョクサイズ	入力サイズに対して、出力イメージのサイズを設定します（サイズマッピング）。 ヨウシケイレツの［シュツリョク］の設定によって、選択できる用紙サイズが異なります。
ヨウシサイズ	出力サイズに対して、実際に出力する用紙サイズを設定します（ヨウシマッピング）。 ここで指定する用紙サイズによっては、入力イメージが回転されて出力されることもあります。 ヨウシケイレツの［インサツヨウシ］の設定によって、選択できる用紙サイズが異なります。

参照 ヨウシケイレツについては、「ヨウシケイレツ」(p9) を参照してください。

設定例

下図のようなマッピングテーブルを設定をした場合、入力サイズが A3 の図面は次のようになります。

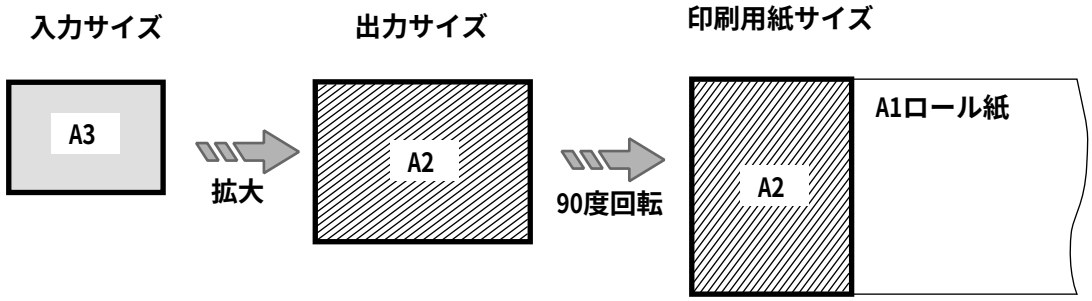
ニュウリョクサイズ	シュツリョクサイズ	ヨウシサイズ
A0	A1	A1
A1	A1	A1
A2	A2	A1
A3	A2	A2
A4	A4	A4

① 入力サイズが A3 の図面は、サイズマッピングを適用し、出力サイズが A2 に拡大（141.4%拡大）されます。

ニュウリョクサイズ	シュツリョクサイズ	ヨウシサイズ
A0	A1	A1
A1	A1	A1
A2	A2	A1
A3	A2	A2
A4	A4	A4

② 出力サイズが A2 なので、ヨウシマッピングを適用し、A1 のロール紙にプリントされます（90 度回転出力）。

ニュウリョクサイズ	シュツリョクサイズ	ヨウシサイズ
A0	A1	A1
A1	A1	A1
A2	A2	A1
A3	A2	A2
A4	A4	A4



ヨウシマッピングで出力できる用紙サイズ例

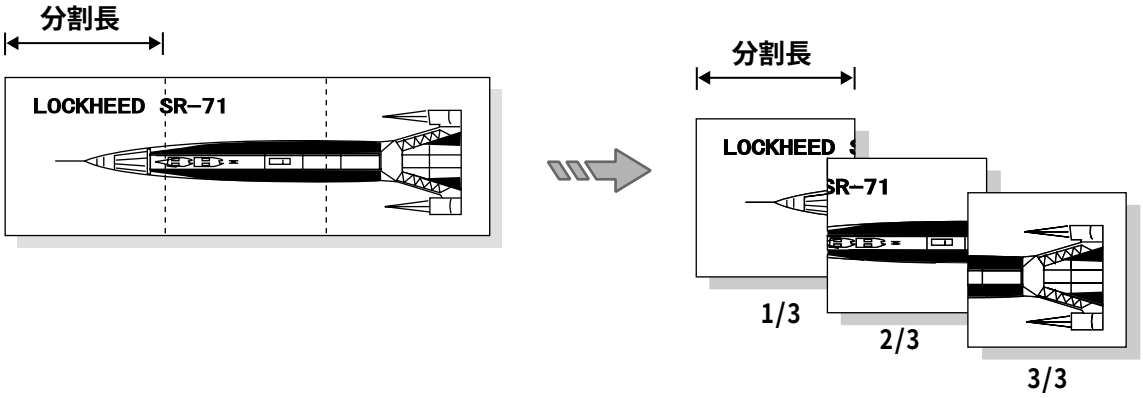
A 系列の場合は、次の用紙サイズが出力できます。

出力サイズ	出力できる用紙サイズ
A1	A1 ロール紙
A2	A1 ロール紙 (90 度回転)、A2 ロール紙
A3	A2 ロール紙 (90 度回転)、A3 ロール紙、A3 カット紙
A4	A4 カット紙

補足
- ペーパーマッピングでは、上記以外の用紙サイズも設定できますが、イメージが欠けたり用紙が大きすぎたりして出力イメージどおりにプリントできないことがあります。
- カット紙とロール紙では、カット紙が優先されます。ロール 1 とロール 2 ではロール 2 が優先されます。

ブンカツインサツ

841mm を超えるような長尺図面は、分割して出力できます。
分割部には、位置合わせのマークを付けることができます。最大分割数は 30 です。



設定項目

次の項目を設定します。

メニュー項目	説明
ブンカツインサツ	[NO]、[YES] から選択します。 初期値は［NO］です。
ブンリハバ	分割印刷する幅を [841 ～プリンターの最大長] の範囲で設定します。 初期値は［841mm］です。
ページ No.	ページ番号をプリントするかどうか設定します。 ページ番号は、「現在のページ数 / 総ページ数」の形式でプリントされます。 初期値は［OFF］です。
ヨハク	接続部の余白を 0 ～ 90mm の範囲で設定します。 初期値は［0mm］です。
イチアワセマーク	位置合わせマークをプリントするかどうかを設定します。初期値は［OFF］です。

シュツリョクユウセンド

プリントの優先度を設定します。ジョブが混在したときは、優先度が高いジョブが優先してプリントされます。

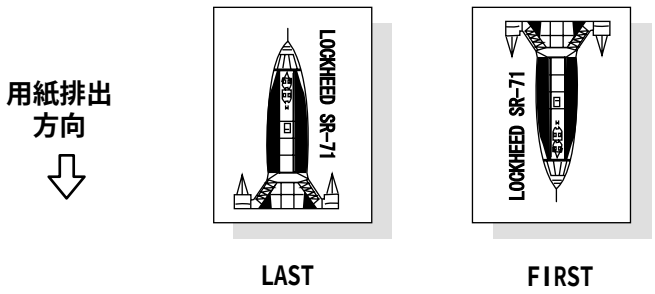
設定項目

次の項目を設定します。

メニュー項目	説明
ユウセンド	プリントの優先度を、次のどれかから選択します。 ［**LOW**］　優先度が低い場合 ［**NORMAL**］優先度が中（標準）の場合 ［**HIGH**］　優先度が高い場合 初期値は［NORMAL］です。

カイテンインサツ

入力イメージを回転してプリントする場合、回転方向を設定します。各出力用紙に対して、イメージの回転方向を設定します。



設定項目

次の項目を設定します。

メニュー項目	説明
サイズ	回転方向を決めるための出力用紙サイズです。 ヨウシケイレツの［インサツヨウシ］の設定によって表示される用紙サイズが異なります。 次の系列の中から設定します。 [JIS A]：A0 ～ A4、U0 ～ U4、A0L ～ A4L [JIS B]：B0 ～ B4、BU0 ～ BU4、B0L ～ B4L
カイテンホウコウ	図面イメージの回転する方向を、用紙サイズごとに設定します。初期値は［LAST］です。 ［**LAST**］　用紙の後端から出力されるように回転します。 ［**FIRST**］ 用紙の先端から出力されるように回転します。

参照 ヨウシケイレツについては、「ヨウシケイレツ」(p9) を参照してください。

スキップコマンドショリ

PS コマンドの有効 / 無効を設定します。

(補足) この設定は、HPGL データだけ有効です。

設定項目

次の項目を設定します。

メニュー項目	説明
PS コマンドムコウ	［NO］ PS コマンドを有効にします。 ［YES］ PS コマンドを無視します。 初期値は［NO］です。

EOP コマンドショリ

EOP コマンドの有効 (YES)/ 無効 (NO) を設定します。

(補足) この設定は、HPGL データだけ有効です。

設定項目

次の項目を設定します。初期値はすべて［YES］です。

メニュー項目	説明
SP：Pen0	SP：Pen0 コマンドを有効にするかどうかを設定します。
PG：Adv Page	PG:Adv Page コマンドを有効にするかどうかを設定します。
NR：	NR コマンドを有効にするかどうかを設定します。
FR：	FR コマンドを有効にするかどうかを設定します。
AF：	AF コマンドを有効にするかどうかを設定します。
AH：	AH コマンドを有効にするかどうかを設定します。

インサツイロシテイ

白色の描画指示があった場合に、白色のペンで描画するか、黒色のペンで描画するかを設定します。

補足 この設定は、HPGL、FXNATIVE データだけ有効です。

設定項目

次の項目を設定します。

メニュー項目	説明
ハクショク ビョウガ	白色の描画指示があった場合の、描画方法を設定します。 ［**ON**］ 白色の描画指示があった場合は、白色のペンで描画します。黒地の上に白い線を描画している場合は、白抜けします。 ［**OFF**］ 白色の描画指示があった場合は、黒色のペンで描画します。黒地の上に白い線を描画している場合、白い線は黒色で描画され、白抜けしません。 初期値は、HPGL データの場合は［ON］、FXNATIVE データの場合は［OFF］です。

インサツマイスウ

プリントする枚数を設定します。

補足 パーソナルコンピューターの設定が優先されます。

設定項目

次の項目を設定します。

メニュー項目	説明
インサツマイスウ	プリントする枚数を、1 ～ 99 の範囲で設定します。 初期値は［1］です。

ニュウリョクレンケツスウ

入力図面サイズを設定します。入力図面サイズの判定方法には、次の 2 つがあります。

- **自動（AUTO）**

入力図面の座標値を計算して、もっとも近いサイズを自動で決定します。

- **サイズ指定**

入力図面の用紙サイズを直接入力します。用紙サイズには、定形サイズとユーザー定義サイズを選択できます。

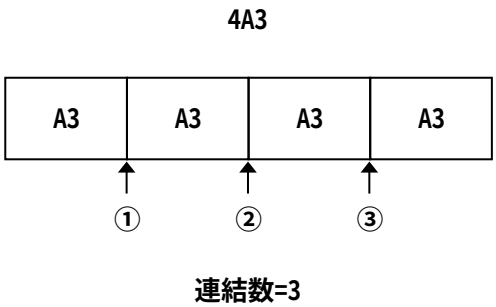
通常は自動にします。入力座標の大きさを制限したいときに、用紙サイズを指定します。用紙サイズを指定すると、そのサイズを超えた部分はカットされます。

設定項目

次の項目を設定します。

メニュー項目	説明
ヨウシサイズ	［AUTO］または**各用紙サイズ**を選択します。 初期値は［AUTO］です。 用紙サイズは、ヨウシケイレツの［ニュウリョク］の設定によって、選択項目が異なります。
レンケツスウ	［ヨウシサイズ］に［AUTO］以外を選択した場合は、連結数を、0 ～ 99 の範囲で設定します。初期値は［1］です。 連結数には、長尺の定形数 -1 を設定します。たとえば、4A3 の場合は、連結数は 3 になります。

参照 ヨウシケイレツについては、「ヨウシケイレツ」(p9) を参照してください。



シュツリョクレンケツスウ

出力サイズを設定します。出力サイズの判定方法には、次の 2 つがあります。

- **自動（AUTO、OTHER、MIX、MIX2）**

入力サイズとサイズマッピングテーブルに従って、最適な出力サイズを決定します。また、出力サイズとペーパーマッピングテーブルに従って（または自動で）、実際に出力する用紙 / ロール紙のサイズを決定します。

- **サイズ指定**

出力する用紙サイズを直接入力します。用紙サイズには、定形サイズとユーザー定義サイズを選択できます。

通常は自動にします。出力する用紙サイズをすべて統一したいときに、用紙サイズを指定します。

入力サイズと出力用紙サイズが異なる場合は、拡大 / 縮小して出力されます。

補足 ［インサツジョウケン ］の [ジドウシュクシャク] を [NO] にしている場合は、出力サイズが入力サイズと異なる場合でも、拡大 / 縮小されません。

参照 ヨウシマッピングについては、「ヨウシマッピング」(p24) を参照してください。

設定項目

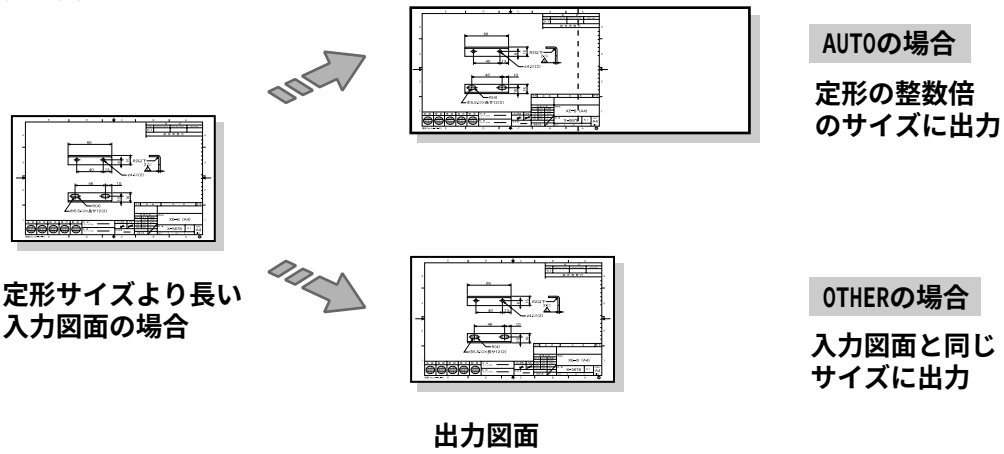
次の項目を設定します。

メニュー項目	説明
ヨウシサイズ	［**AUTO**］、［**OTHER**］、［**MIX**］、［**MIX2**］、または**各用紙サイズ**を選択します。 ［**AUTO**］ 定形優先モードです。長辺が定形サイズを超えた場合は、定形の整数倍のサイズにカットされます。 ［**OTHER**］ すべての図面がシンクロカットされます。 ［**MIX**］ A1 サイズ以下の図面で長辺が定形サイズを超えた場合は、定形の整数倍のサイズにカットされます。A0 サイズを超える図面は、すべてシンクロカットされます。 ［**MIX2**］ A1 サイズ以下の図面で長辺が定形サイズを超えた場合は、すべてシンクロカットされます。 初期値は［AUTO］です。 用紙サイズは、ヨウシケイレツの［シュツリョク］の設定によって、選択項目が異なります。

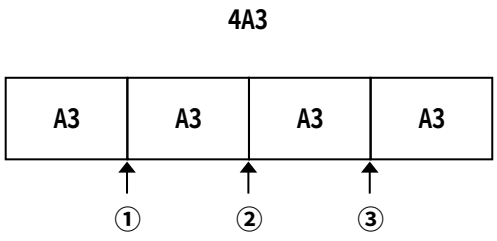
補足
- シンクロカットとは、用紙の長辺を図面の長さに合わせて不定形サイズにカットすることをいいます。
- [OTHER] を選択した場合は、ロール紙に出力されます。
- ヨウシケイレツについては、「ヨウシケイレツ」(p9) を参照してください。

メニュー項目	説明
レンケツスウ	［ヨウシサイズ］をサイズ指定した場合は、連結数を、0 ～ 99 の範囲で設定します。初期値は［0］です。 連結数には、長尺の定形数 -1 を設定します。たとえば、4A3 の場合は、連結数は 3 になります。
ゼンゴヨハク	余白を付けるかどうかを指定します。 ［**NO**］　余白は付けません。 ［**ALL**］　すべてのデータに、前後余白を付けます。 ［**LONG**］　長尺の場合にだけ、前後余白を付けます。 初期値は［NO］です。
ウエヨハク	［ゼンゴヨハク］で［NO］以外を指定した場合、前方の余白サイズを、-90 ～ 99㎜ の範囲で設定します。
シタヨハク	［ゼンゴヨハク］で［NO］以外を指定した場合、後方の余白サイズを、-90 ～ 99㎜ の範囲で設定します。

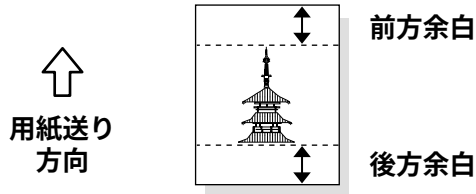
- **用紙サイズ**



- **連結数**



- **前後余白**



ヨウシシュベツ

用紙種別を設定します。この設定は、同一サイズの異種類の用紙がセットされている場合に有効です。通常は［ANYTHING］を選択します。

補足 データ内に、PC 側で設定された用紙指定コマンドがある場合は、そのコマンドが優先されます。

設定項目

次の項目を設定します。

メニュー項目	説明
シュルイ	プリントする用紙を選択します。 ［**ANYTHING**］、［**ORDINARY**］、［**TRACING**］、［**FILM**］から選択します。初期値は［ANYTHING］です。 ［**ANYTHING**］　すべての有効 ［**ORDINARY**］　普通紙 ［**TRACING**］　トレーシングペーパー ［**FILM**］　フィルム

ユーザーテイギサイズ

ユーザー定義サイズは、不定形サイズの図面や長尺図面を出力するときに使用します。
ユーザー定義サイズは、定形サイズごとに１つずつ指定できます。定形サイズを超え、指定したユーザー定義の範囲以内のものは、ユーザー定義サイズに大きさを統一して出力できます。

補足 ユーザー定義サイズは、［シュツリョクレンケツスウ］の［ヨウシサイズ］を［AUTO］に設定したときにだけ有効です。

設定項目

次の項目を設定します。

メニュー項目	説明
テイギサイズ	ユーザー定義サイズの用紙名です。 ヨウシケイレツの［ニュウリョク］の設定によって、用紙名が異なります。次ページの表を参照してください。
ナガサ	ユーザー定義用紙の長辺のサイズを設定します。設定できる範囲は、次ページの表を参照してください。

参照 ヨウシケイレツについては、「ヨウシケイレツ」(p9) を参照してください。

プリント用メモリー

	Total	普通紙	トレペ / フィルム (*)
標準	128MB	A1 ロール：1682mm(2A1) 以下 A2 ロール：2376mm(4A2) 以下 A3 ロール：5000mm 以下	A1 ロール：1682mm(2A1) 以下 A2 ロール：1188mm(2A2) 以下 A3 ロール：840mm(2A3) 以下
標準 + 128MB	256MB	ロール紙によらず 5000mm 以下	A1 ロール：2500mm 以下 A2 ロール：1188mm(2A2) 以下 A3 ロール：840mm(2A3) 以下

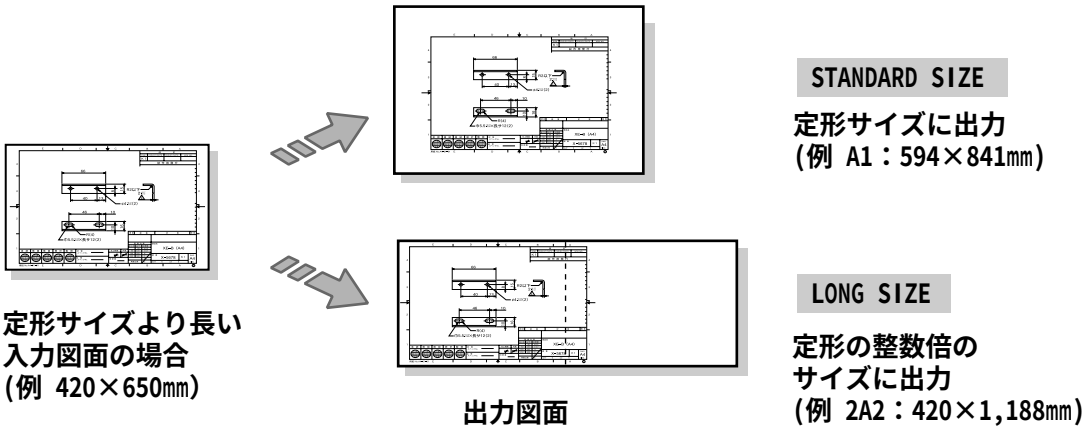
(*) トレペ / フィルムはプリンター部の紙質別の保証制限

サイズユウセンモード

A1 サイズ（長辺が 841mm）以内の図面で定形サイズを超えた場合に、１つ上の定形サイズに出力するか、定形の整数倍のサイズに出力するかを設定します。

この設定は、出力用紙サイズを定形や定形の整数倍のサイズでそろえたい場合に便利です。

補足 この設定は、［シュツリョクレンケツスウ］の［ヨウシサイズ］が［AUTO］または [MIX] のときに有効です。



設定項目

次の項目を設定します。

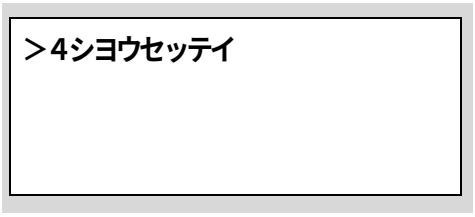
メニュー項目	説明
ユウセンモード	サイズ優先モードを設定します。 ［**STANDARD SIZE**］ A1 以内のサイズで、短辺か長辺が定形サイズを超えた場合、１つ上の定形サイズに出力します。 ［**LONG SIZE**］ A1 以内のサイズで、長辺が定形サイズを超えた場合、定形の整数倍のサイズに出力します。 初期値は［LONG SIZE］です。

操作パネルの操作

論理プリンターは、データフォーマットごとに 100 個ずつ用意されており、それぞれ個別に設定できます。
フォーマットは、[HPGL]、[FXNATIVE]、[TIFF]、[CALS] から選択します。
ファイル No.（論理プリンター番号）は、0 ～ 99 の範囲で指定します。

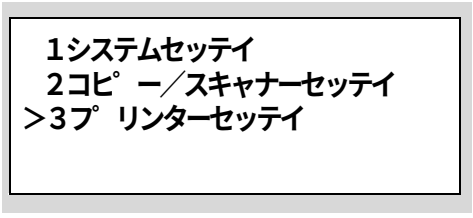
参照 操作パネルの詳しい操作については、『取扱説明書』の「操作パネルの基本操作」(p8) を参照してください。

操作手順

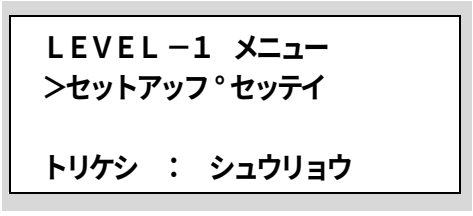


1 操作パネルの〈仕様設定 / メーター確認〉キーを押します。

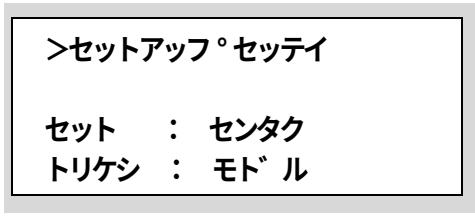
2 [4 シヨウセッテイ] を選択し、〈セット〉キーを押します。



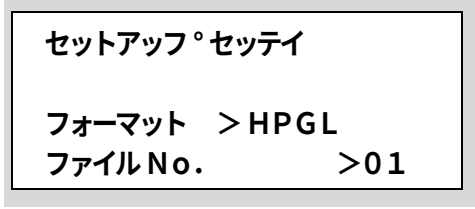
3 [3 プリンターセッテイ] を選択し、〈セット〉キーを押します。



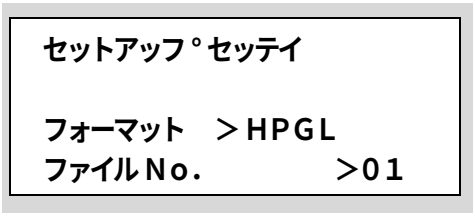
4 [セットアップセッテイ] を選択し、〈セット〉キーを押します。



5 もう一度、〈セット〉キーを押します。

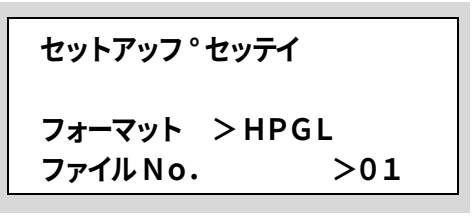


6 設定する項目を〈▼〉〈▲〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。



フォーマットが選択されている場合

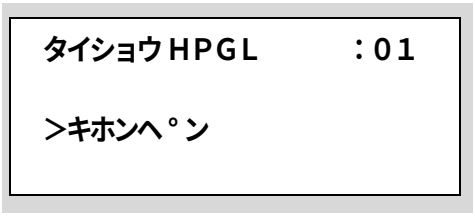
7 フォーマット（HPGL、FXNATIVE、TIFF、CALS）を〈◀ 〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。



ファイル No．が選択されている場合

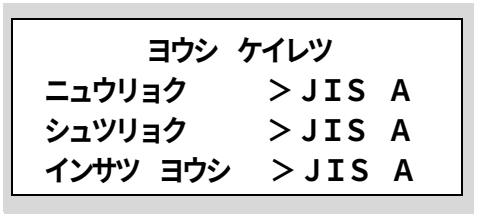
8 論理プリンター番号(0 ～ 99)を〈◀ 〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。

補足 カーソルは〈◀ 〉〈▶〉キーで左右に移動します。



9 設定する項目を〈▼〉〈▲〉キーで選択し、〈セット〉キーを押します。
選択したデータフォーマットによって、選択できる項目が異なります。

HPGL	NATIVE	TIFF	CALS
ヨウシケイレツ キホンペン キホンペン（ハンイ） ショリゲンゴ ペンオプション インサツジョウケン プロットエリア メッセージオプション ペーパーマージン ヨウシマッピング ブンカツインサツ シュツリョクユウセンド カイテンインサツ スキップコマンド EOP コマンド ショリ インサツイロシテイ インサツマイスウ ニュウリョクレンケツスウ シュツリョクレンケツスウ ヨウシシュベツ ユーザテイギサイズ サイズユウセンモード	ヨウシケイレツ FX ペンハバ FX ペンシヨウ FX キホンペン FX キホンペン（ハンイ） ペンオプション インサツジョウケン プロットエリア メッセージオプション ペーパーマージン ヨウシマッピング ブンカツインサツ シュツリョクユウセンド カイテンインサツ インサツイロシテイ インサツマイスウ ニュウリョクレンケツスウ シュツリョクレンケツスウ ヨウシシュベツ ユーザテイギサイズ サイズユウセンモード	ヨウシケイレツ TIFF オプション インサツジョウケン プロットエリア メッセージオプション ペーパーマージン ヨウシマッピング ブンカツインサツ シュツリョクユウセンド カイテンインサツ インサツマイスウ ニュウリョクレンケツスウ シュツリョクレンケツスウ ヨウシシュベツ ユーザテイギサイズ サイズユウセンモード	ヨウシケイレツ CALS オプション インサツジョウケン プロットエリア メッセージオプション ペーパーマージン ヨウシマッピング ブンカツインサツ シュツリョクユウセンド カイテンインサツ インサツマイスウ ニュウリョクレンケツスウ シュツリョクレンケツスウ ヨウシシュベツ ユーザテイギサイズ サイズユウセンモード



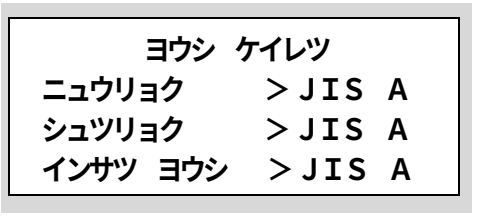
10 各パラメーターを〈▼〉〈▲〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。

補足 各パラメーターの設定内容は、〈セット〉キーで確定した時点で反映されます。あとで設定内容を保存するといった操作は必要ありません。

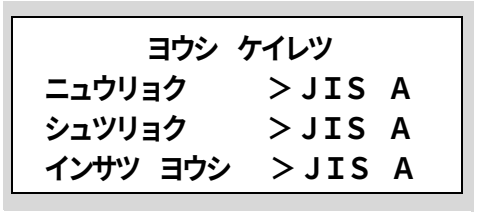
11 各画面で〈取り消し〉キーを押すと前画面に戻ります。

ヨウシケイレツ

1 設定項目の選択画面で［ヨウシケイレツ］を表示し、〈セット〉キーを押します。

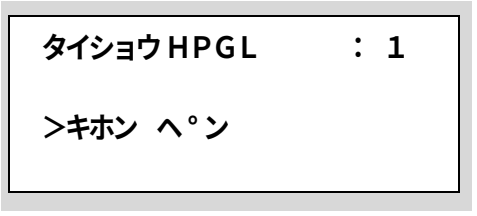


2 設定する項目を〈▼〉〈▲〉キーで選択し、〈セット〉キーを押します。

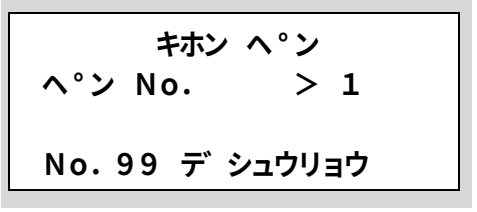


3 各パラメーターを〈◀ 〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。

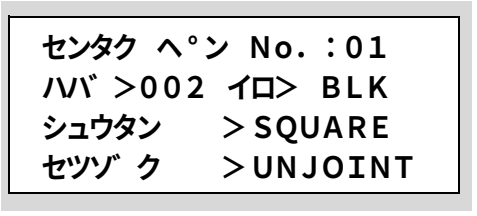
キホンペン（HPGL のみ）



1 設定項目の選択画面で［キホンペン］を表示し、〈セット〉キーを押します。

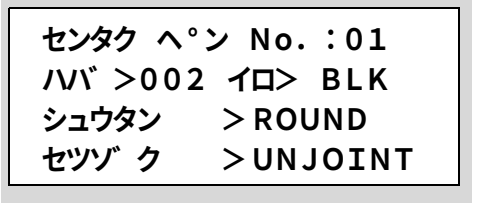


2 ペン番号を〈▼〉〈▲〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。



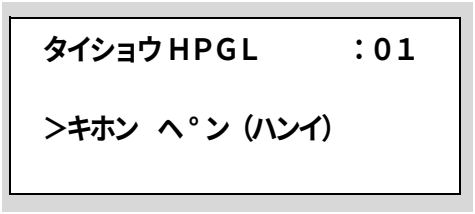
3 設定する項目を〈▼〉〈▲〉キーで選択し、〈セット〉キーを押します。

補足 設定項目は〈▲〉〈▼〉キーで移動します。

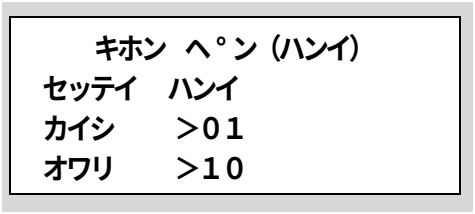


4 各パラメーターを〈◀ 〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。

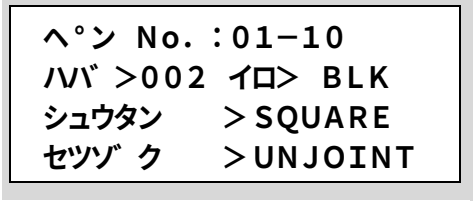
キホンペン（ハンイ）（HPGL のみ）



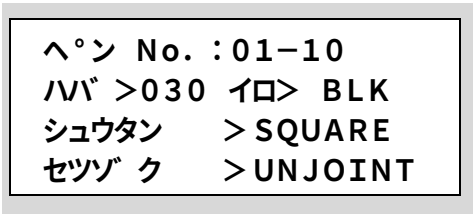
1 設定項目の選択画面で［キホンペン（ハンイ）］を表示し、〈セット〉キーを押します。



2 ペンの開始と終了の番号を〈▼〉〈▲〉キーで選択し、〈セット〉キーを押して確定します。

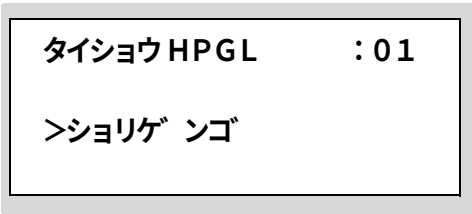


3 設定する項目を〈▼〉〈▲〉キーで選択し、〈セット〉キーを押します。

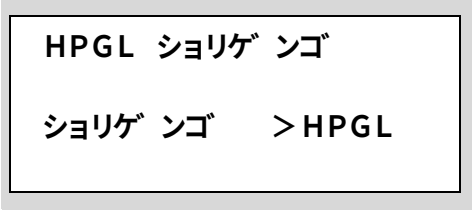


4 各パラメーターを〈◀〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。

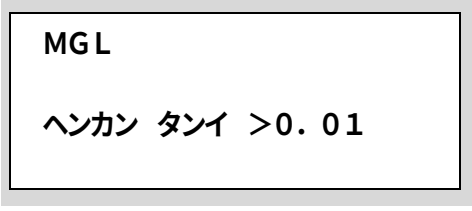
ショリゲンゴ（HPGL のみ）



1 設定項目の選択画面で［ショリゲンゴ］を表示し、〈セット〉キーを押します。



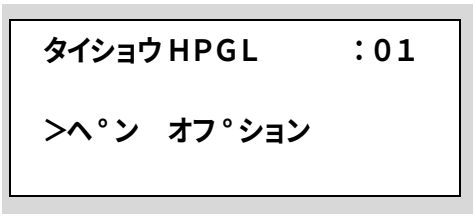
2 処理言語を〈◀〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。



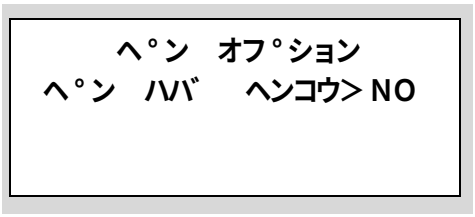
MGL を選択した場合

3 座標単位を〈◀〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。

ペンオプション



1 設定項目の選択画面で［ペンオプション］を表示し、〈セット〉キーを押します。



2 パラメーターを〈◀ 〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。

TIFF オプション（TIFF のみ）

1 設定項目の選択画面で［TIFF オプション］を表示し、〈セット〉キーを押します。

2 設定する項目を〈▼〉〈▲〉キーで選択し、〈セット〉キーを押します。

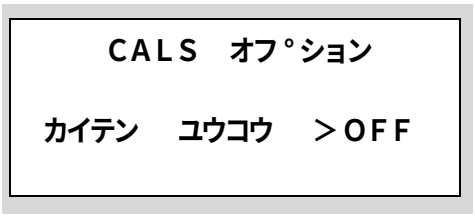
3 各パラメーターを〈◀ 〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。

DPI で［MENU］を選択した場合

1. パラメーターを〈◀ 〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。

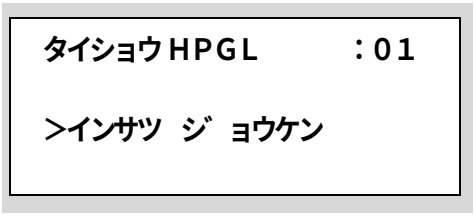
CALS オプション（CALS のみ）

1 設定項目の選択画面で［CALS オプション］を表示し、〈セット〉キーを押します。

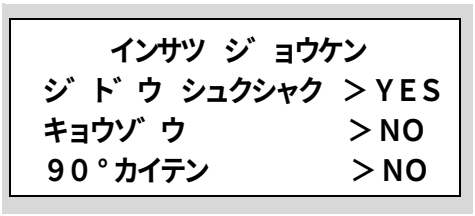


2 パラメーターを〈◀ 〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。

インサツジョウケン

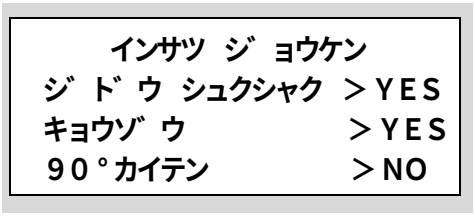


1 設定項目の選択画面で［インサツジョウケン］を表示し、〈セット〉キーを押します。



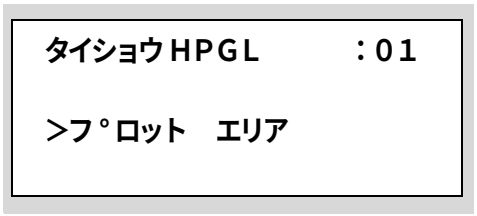
2 設定する項目を〈▼〉〈▲〉キーで選択し、〈セット〉キーを押します。

補足 ［90°カイテン］は、[ニュウリョクレンケツスウ］の［ヨウシサイズ］で［ジドウ］以外が設定されているときに選択できます。

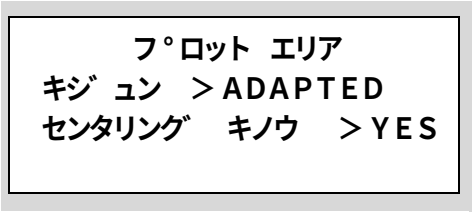


3 各パラメーターを〈◀ 〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。

プロットエリア



1 設定項目の選択画面で［プロットエリア］を表示し、〈セット〉キーを押します。



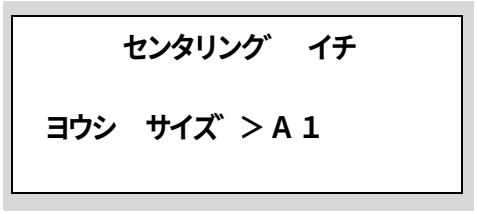
2 設定する項目を〈▼〉〈▲〉キーで選択し、〈セット〉キーを押します。

補足 TIFF データフォーマット、CALS データフォーマットのときは、[キジュン]は表示されません。

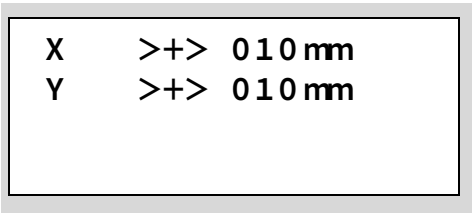
3 パラメーターを〈◀ 〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。

4 センタリングキノウで　[YES] を選択し、〈▼〉キーを押すと確認画面になり、続けて〈セット〉キーを押すと確定します。

センタリングキノウで［NO］が選択されている場合

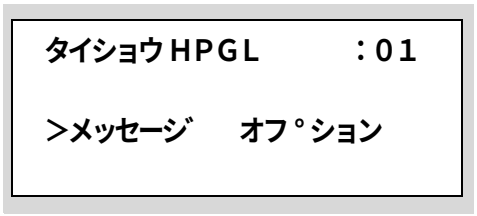


1. パラメーターを〈◀ 〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。

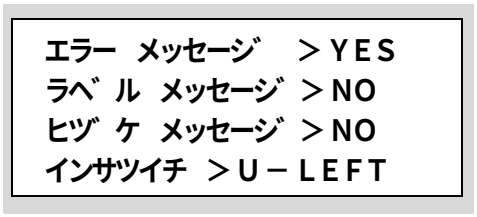


2. 設定する項目を〈▼〉〈▲〉キーで選択し、〈セット〉キーを押します。
3. パラメーターを〈◀ 〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。

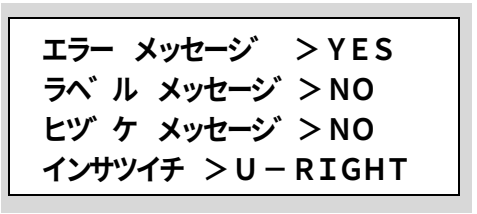
メッセージオプション



1 設定項目の選択画面で［メッセージオプション］を表示し、〈セット〉キーを押します。

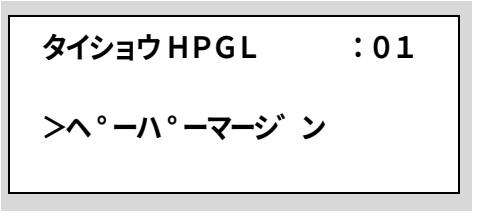


2 設定する項目を〈▼〉〈▲〉キーで選択し、〈セット〉キーを押します。

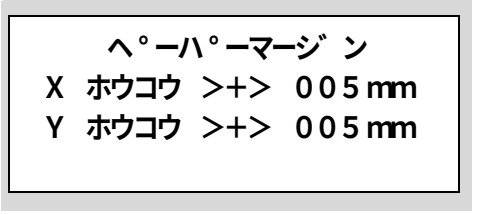


3 各パラメーターを〈◀ 〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。

ペーパーマージン



1 設定項目の選択画面で［ペーパーマージン］を表示し、〈セット〉キーを押します。

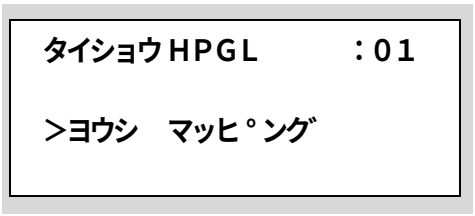


2 設定する項目を〈▼〉〈▲〉キーで選択し、〈セット〉キーを押します。

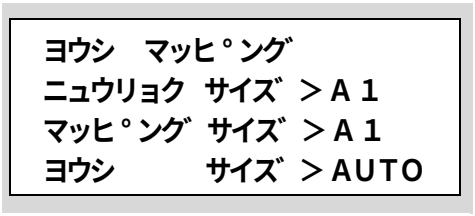
3 パラメーターを〈◀ 〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。

補足 ［+］記号にカーソルを合わせて〈▼〉キーを押すと、［−］に切り替わります。

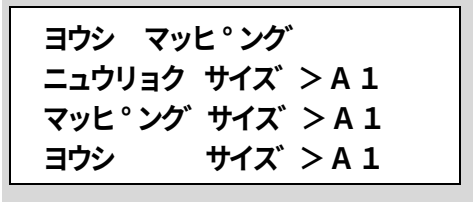
ヨウシマッピング



1 設定項目の選択画面で［ヨウシマッピング］を表示し、〈セット〉キーを押します。



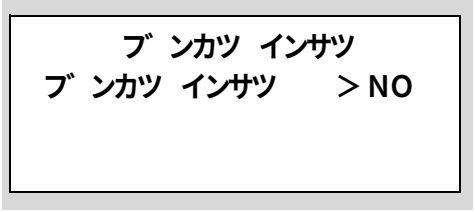
2 設定する項目を〈▼〉〈▲〉キーで選択し、〈セット〉キーを押します。



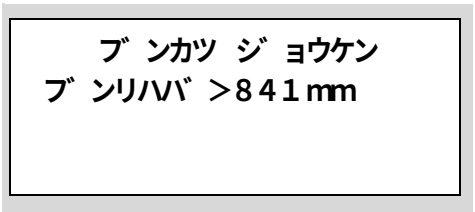
3 各パラメーターを〈◀〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。

ブンカツインサツ

1 設定項目の選択画面で［ブンカツインサツ］を表示し、〈セット〉キーを押します。

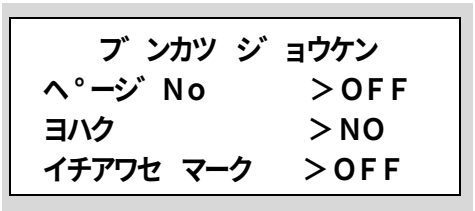


2 分割印刷をするかどうかを〈◀〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。
分割印刷をする場合は、［YES］を選択し、〈セット〉キーを押します。



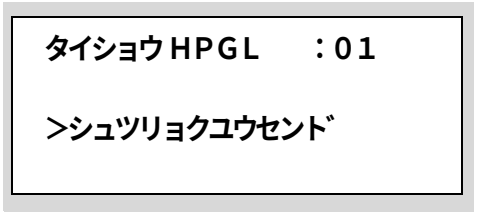
［ＹＥＳ］を選択した場合

1. 〈◀〉〈▶〉キーで分割幅を選択し、〈セット〉キーで確定します。

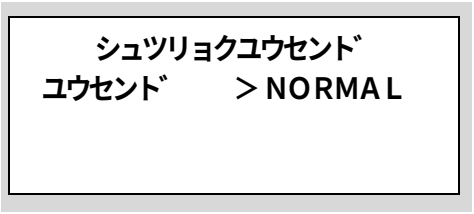


2. 設定する項目を〈▼〉〈▲〉キーで選択し、〈セット〉キーを押します。
3. 各パラメーターを〈◀〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。

シュツリョクユウセンド

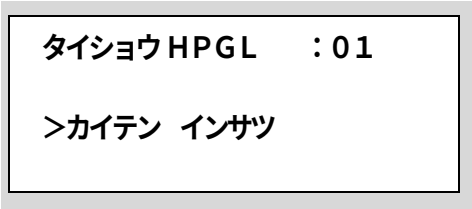


1 設定項目の選択画面で［シュツリョクユウセンド］を表示し、〈セット〉キーを押します。

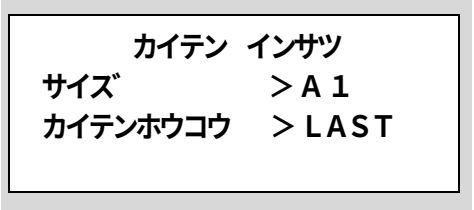


2 出力優先度を〈◀〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。

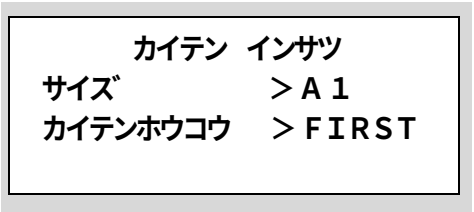
カイテンインサツ



1 設定項目の選択画面で［カイテンインサツ］を表示し、〈セット〉キーを押します。



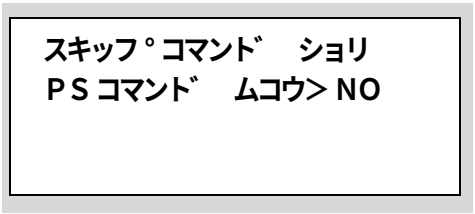
2 設定する項目を〈▼〉〈▲〉キーで選択し、〈セット〉キーを押します。



3 各パラメーターを〈◀〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。

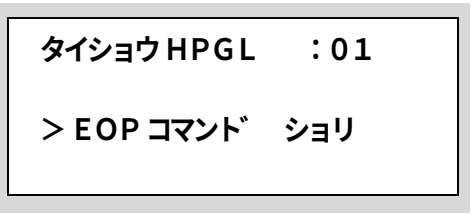
スキップコマンド（HPGL のみ）

1 設定項目の選択画面で［スキップコマンド］を表示し、〈セット〉キーを押します。

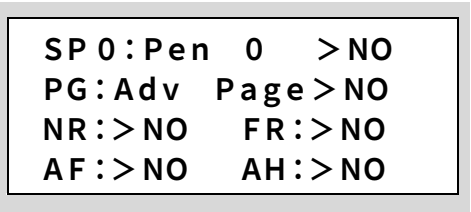


2 PS コマンドを無効にするかどうかを〈◀〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。

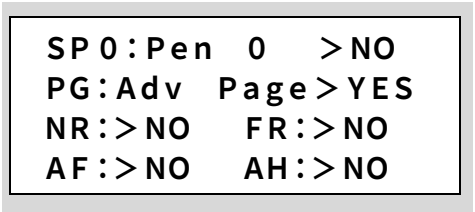
EOP コマンドショリ（HPGL のみ）



1 設定項目の選択画面で［EOP　コマンドショリ］を表示し、〈セット〉キーを押します。

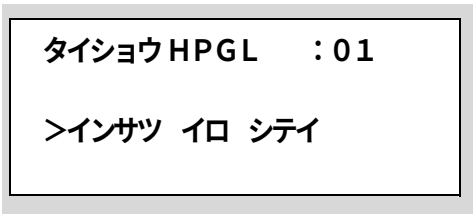


2 設定する項目を〈▼〉〈▲〉キーで選択し、〈セット〉キーを押します。

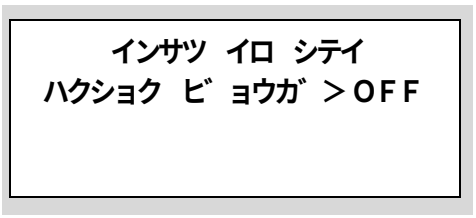


3 各パラメーターを〈◀〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。

インサツイロシテイ（HPGL、FXNATIVE のみ）



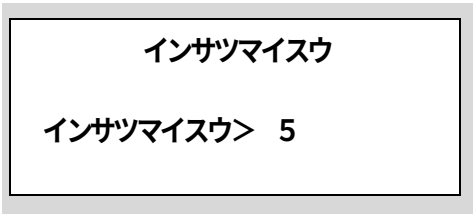
1 設定項目の選択画面で［インサツイロシテイ］を表示し、〈セット〉キーを押します。



2 白色描画をするかどうか〈◀ 〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。

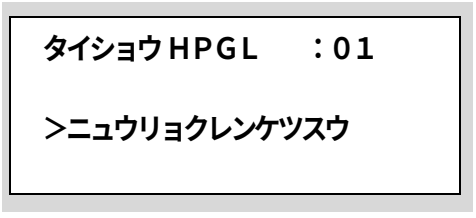
インサツマイスウ

1 設定項目の選択画面で［インサツマイスウ］を表示し、〈セット〉キーを押します。

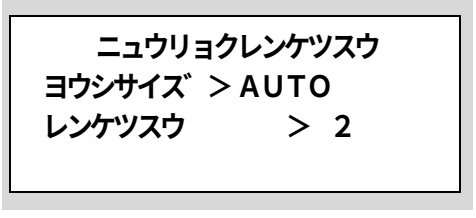


2 プリントする枚数を〈▼〉〈▲〉キーで選択し、〈セット〉キーを押し確定します。

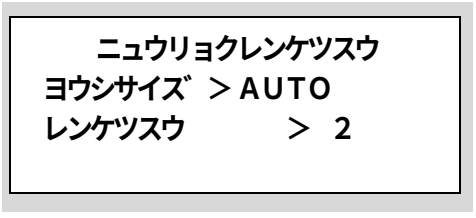
ニュウリョクレンケツスウ



1 設定項目の選択画面で［ニュウリョクレンケツスウ］を表示し、〈セット〉キーを押します。

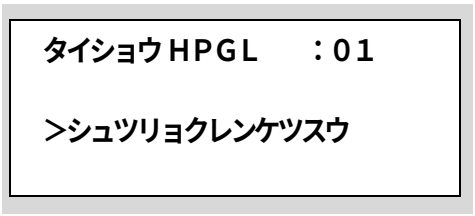


2 設定する項目を〈▼〉〈▲〉キーで選択し、〈セット〉キーを押します。

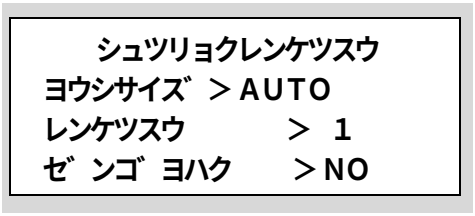


3 各パラメーターを〈◀ 〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。

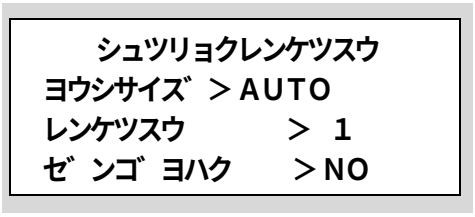
シュツリョクレンケツスウ



1 設定項目の選択画面で［シュツリョクレンケツスウ］を表示し、〈セット〉キーを押します。



2 設定する項目を〈▼〉〈▲〉キーで選択し、〈セット〉キーを押します。



3 各パラメーターを〈◀〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。

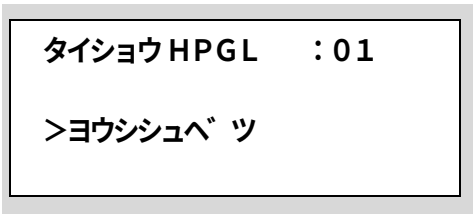
<u>ゼンゴヨハクで［NO］以外を選択した場合</u>

1. 設定する項目を〈▼〉〈▲〉キーで選択し、〈セット〉キーを押します。

2. 各パラメーターを〈◀〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。

補足 ［+］記号にカーソルを合わせて〈▼〉キーを押すと［−］に切り替わります。

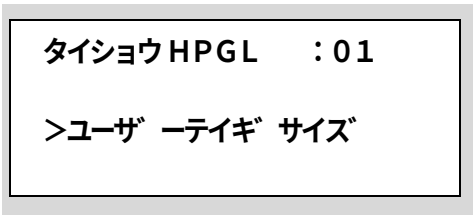
ヨウシシュベツ



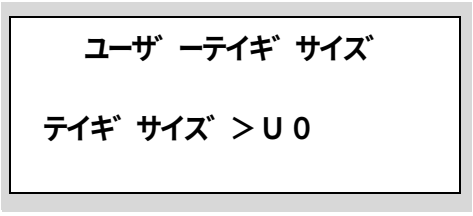
1 設定項目の選択画面で［ヨウシシュベツ］を表示し、〈セット〉キーを押します。

2 用紙種別を〈◀〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。

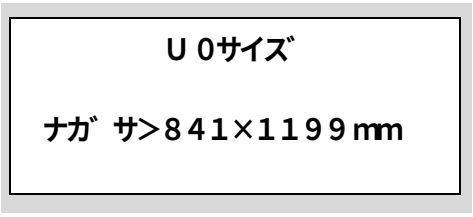
ユーザーテイギサイズ



1 設定項目の選択画面で［ユーザーテイギサイズ］を表示し、〈セット〉キーを押します。

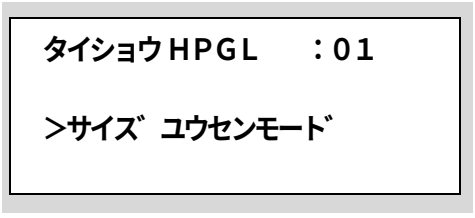


2 〈◀〉〈▶〉キーで用紙サイズを選択し、〈セット〉キーで確定します。



3 〈◀〉〈▶〉キーで長さを設定し、〈セット〉キーで確定します。

サイズユウセンモード



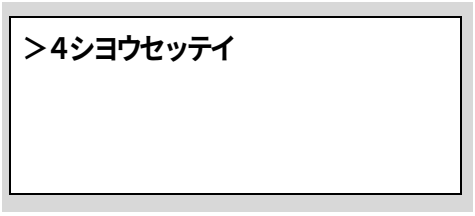
1 設定項目の選択画面で［サイズユウセンモード］を表示し、〈セット〉キーを押します。

2 優先モードを〈◀〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。

デフォルト論理プリンターの設定

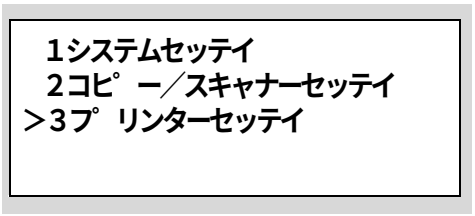
シリアルとセントロニクス（オプション）で使う論理プリンターを設定します。

操作手順

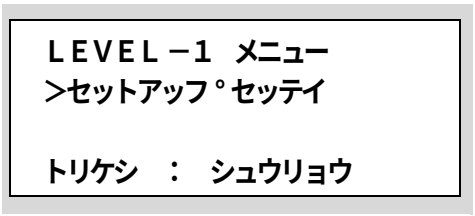


1 操作パネルの〈仕様設定 / メーター確認〉キーを押します。

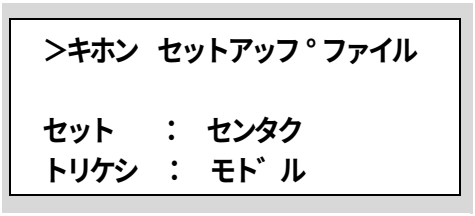
2 [4 シヨウセッテイ] を選択し、〈セット〉キーを押します。



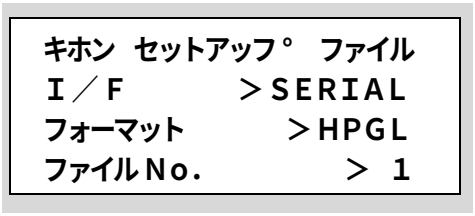
3 [3 プリンターセッテイ] を選択し、〈セット〉キーを押します。



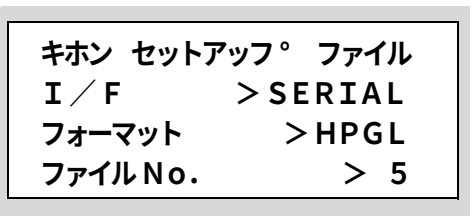
4 ［セットアップセッテイ］が表示された状態で、〈セット〉キーを押します。



5 〈▼〉キーで［キホンセットアップファイル］を選択し、〈セット〉キーを押します。



6 設定する項目を〈▼〉〈▲〉キーで選択し、〈セット〉キーを押します。

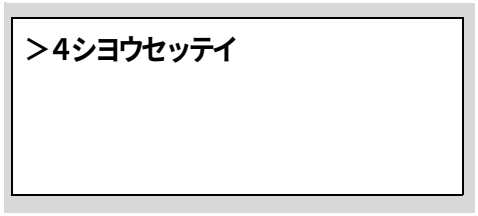


7 各パラメーターを〈◀ 〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。

設定内容のプリント

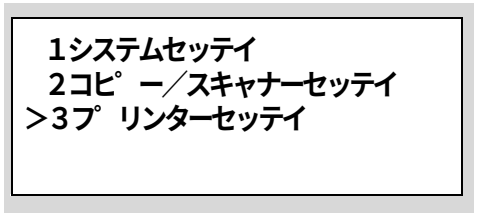
論理プリンターの設定内容をプリントします。

操作手順

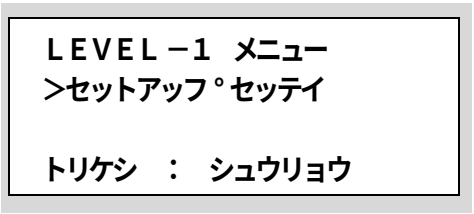


1 操作パネルの〈仕様設定 / メーター確認〉キーを押します。

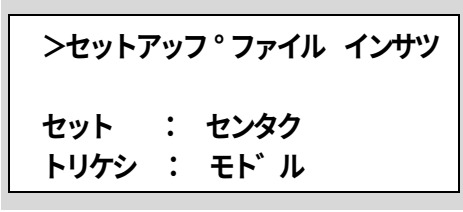
2 [4 シヨウセッテイ] を選択し、〈セット〉キーを押します。



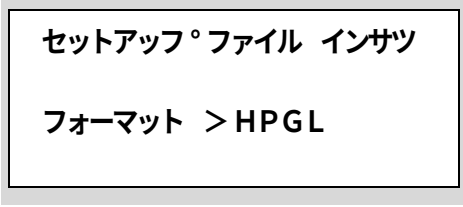
3 [3 プリンターセッテイ] を選択し、〈セット〉キーを押します。



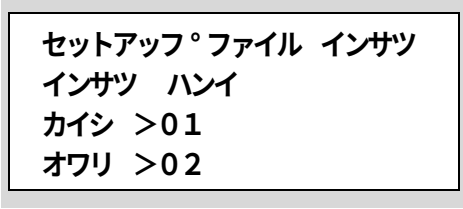
4 〈▼〉〈▲〉キーで［セットアップセッテイ］を選択し、〈セット〉キーを押します。



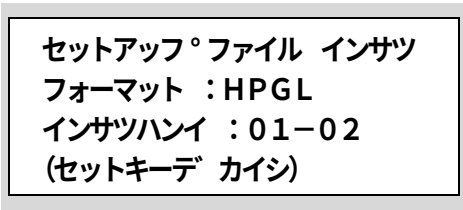
5 〈▼〉キーで［セットアップインサツ］を選択し、〈セット〉キーを押します。



6 フォーマットを〈◀ 〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。



7 プリントする論理プリンターの開始番号と終了番号を〈▼〉〈▲〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。



8 〈セット〉キーを押します。
設定内容のプリントが開始します。

1.3 各種ログの管理

ログには、次の 3 種類があります。これらのログを、プリントや削除ができます。

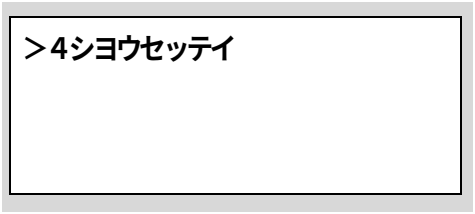
- ジョブログ
- エラーログ
- 入力ログ

参照 操作パネルの詳しい操作については、『取扱説明書』の「操作パネルの基本操作」(p8) を参照してください。

ジョブログの管理

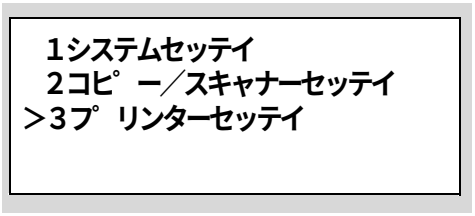
ジョブログを操作する手順を説明します。

操作手順

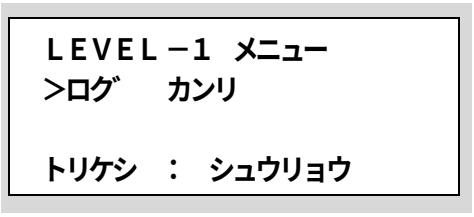


1 操作パネルの〈仕様設定 / メーター確認〉キーを押します。

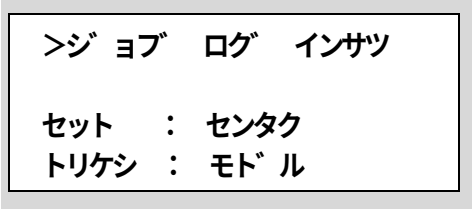
2 [4 シヨウセッテイ] を選択し、〈セット〉キーを押します。



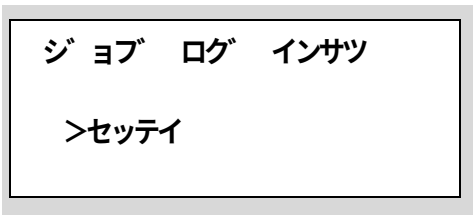
3 [3 プリンターセッテイ] を選択し、〈セット〉キーを押します。



4 〈▼〉〈▲〉キーで［ログカンリ］を選択し、〈セット〉キーを押します。

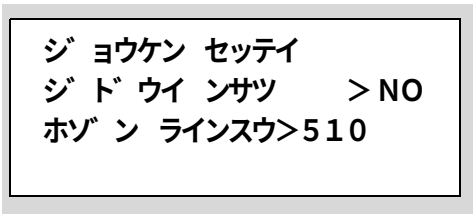


5 ［ジョブログインサツ］が表示された状態で〈セット〉キーを押します。

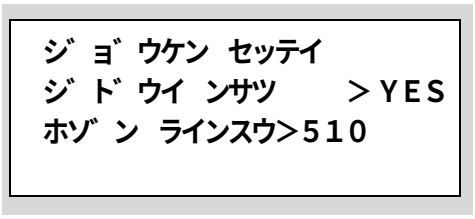


6 それぞれの操作を〈▼〉〈▲〉キーで選択し、〈セット〉キーを押します。
［セッテイ］、［インサツ］、［サクジョ］の順に表示されます。

［セッテイ］を選択した場合



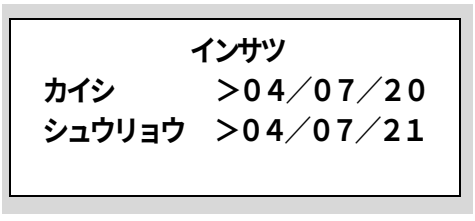
1. ［ジドウインサツ］または［ホゾンラインスウ］(510 ～ 65,535) を〈▼〉〈▲〉キーで選択し、〈セット〉キーを押します。



2. 各パラメーターを〈◀〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーを押します。

補足 自動プリントを有効にすると、処理したジョブが 51 ページたまると自動的にプリントされます。

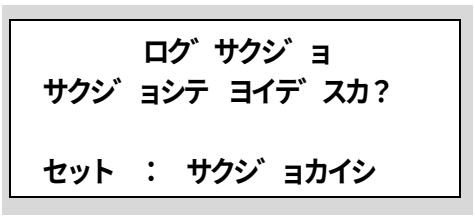
［インサツ］を選択した場合



1. プリントを開始 / 終了する日付（西暦年下 2 桁、月、日）を〈▼〉〈▲〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。
確定後、カーソルを右端に移動して〈▼〉キーを押します。

2. 〈セット〉キーを押します。
ジョブログがプリントされます。

［サクジョ］を選択した場合

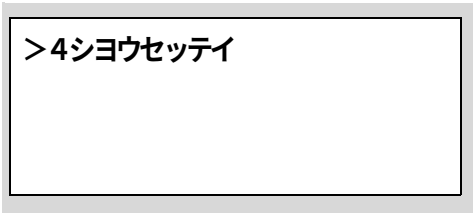


確認メッセージが表示されたら、〈セット〉キーを押します。
ジョブログが削除されます。

エラーログの管理

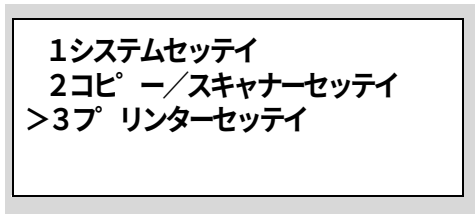
エラーログを操作する手順を説明します。

操作手順

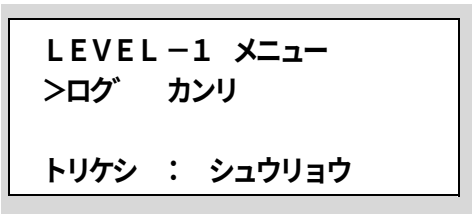


1 操作パネルの〈仕様設定 / メーター確認〉キーを押します。

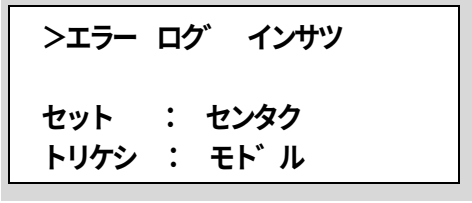
2 [4 シヨウセッテイ] を選択し、〈セット〉キーを押します。



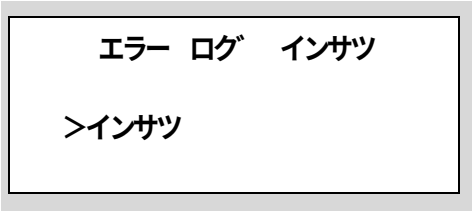
3 [3 プリンターセッテイ] を選択し、〈セット〉キーを押します。



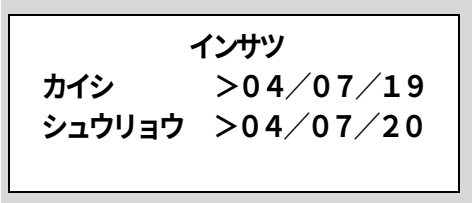
4 〈▼〉〈▲〉キーで［ログカンリ］を選選択し、〈セット〉キーを押します。



5 〈▼〉キーで［エラーログインサツ］を表示し、〈セット〉キーを押します。



6 それぞれの操作を〈▼〉〈▲〉キーで選択し、〈セット〉キーを押します。
［セッテイ］、［インサツ］、［サクジョ］の順に表示されます。



［インサツ］を選択した場合

1. プリントを開始 / 終了する日付（西暦年下 2 桁、月、日）を〈▼〉〈▲〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。
   確定後、カーソルを右端に移動して〈▼〉キーを押します。
2. 「プリントデキマス」が表示されたら、〈セット〉キーを押します。
   エラーログがプリントされます。

ﾛｸﾞ ｻｸｼﾞ ｮ
ｻｸｼﾞ ｮｼﾃ ﾖｲﾃﾞ ｽｶ?

ｾｯﾄ ： ｻｸｼﾞ ｮｶｲｼ

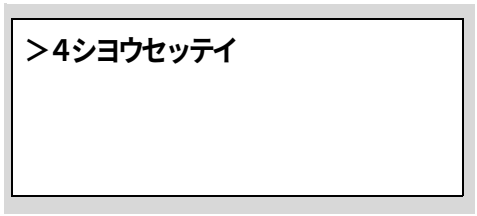
［サクジョ］を選択した場合

確認メッセージが表示されたら、〈セット〉キーを押します。
エラーログが削除されます。

入力ログの管理

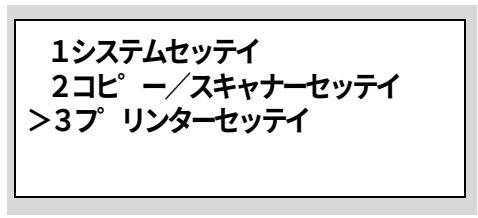
入力ログを操作する手順を説明します。

操作手順

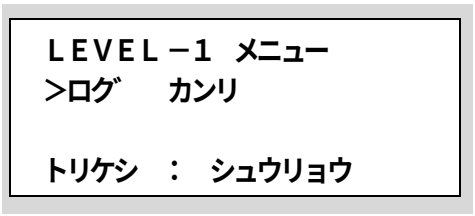


1 操作パネルの〈仕様設定 / メーター確認〉キーを押します。

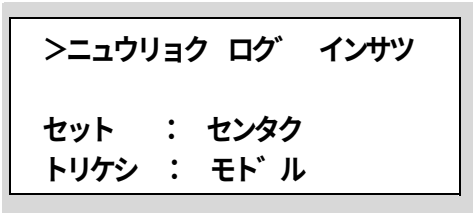
2 [4 シヨウセッテイ] を選択し、〈セット〉キーを押します。



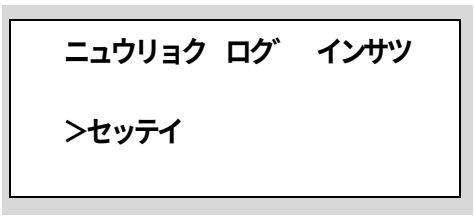
3 [3 プリンターセッテイ] を選択し、〈セット〉キーを押します。



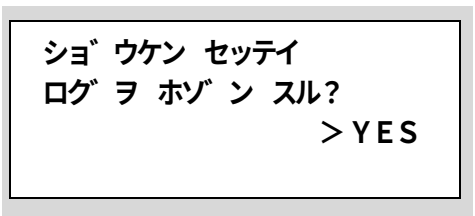
4 〈▼〉〈▲〉キーで［ログカンリ］を選択し、〈セット〉キーを押します。



5 〈▼〉キーで、［ニュウリョクログインサツ］を表示し、〈セット〉キーを押します。



6 それぞれの操作を〈▼〉〈▲〉キーで選択し、〈▶〉キーを押します。
［セッテイ］、［インサツ］、［サクジョ］の順に表示されます。



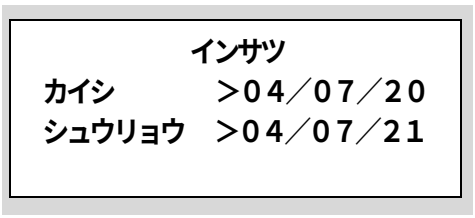
［セッテイ］を選択した場合

1. ログを保存するかどうかを〈◀〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーを押します。

2. ［YES］を選択した場合は、［Error Only］、［Error ＋ Status］、［ALL］のどれかを〈◀〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。

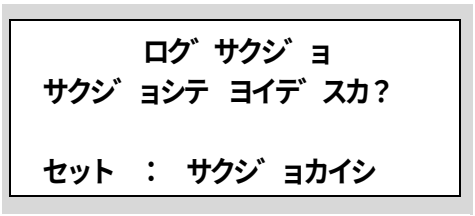
3. ログの保存行数（1,000 ～ 65,535）を〈▼〉〈▲〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。

［インサツ］を選択した場合



1. プリントを開始 / 終了する日付（西暦年下 2 桁、月、日）を〈▼〉〈▲〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。
   確定後、カーソルを右端に移動して〈▼〉キーを押します。
2. 「プリントデキマス」が表示されたら、〈セット〉キーを押します。
   入力ログがプリントされます。

［サクジョ］を選択した場合



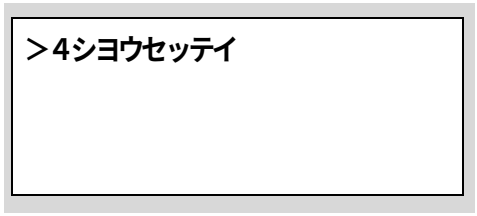
確認メッセージが表示されたら、〈セット〉キーを押します。
入力ログが削除されます。

1.4 データの格納方法

入力データは、一度内部データに変換してから格納されます。
データの格納方法を設定します。

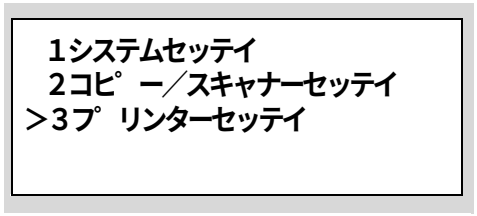
補足 通常は [OVERFLOW ELEMENT] のままお使いください。

操作手順

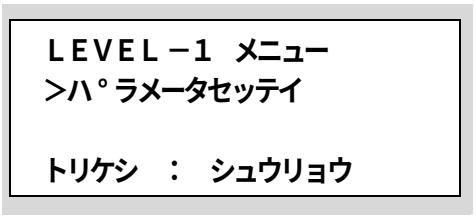


1 操作パネルの〈仕様設定 / メーター確認〉キーを押します。

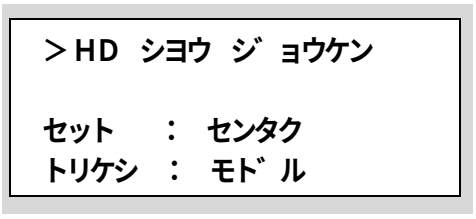
2 [4 シヨウセッテイ] を選択し、〈セット〉キーを押します。



3 [3 プリンターセッテイ] を選択し、〈セット〉キーを押します。



4 〈▼〉〈▲〉キーで［パラメータセッテイ］を選択し、〈セット〉キーを押します。



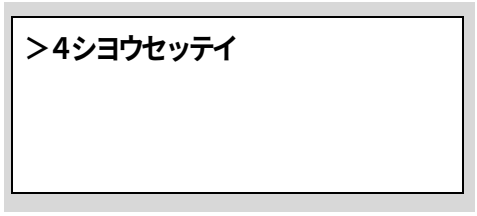
5 〈セット〉キーを押します。

6 ハードディスクへの格納方法を〈◀〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。

1.5 テストプリント

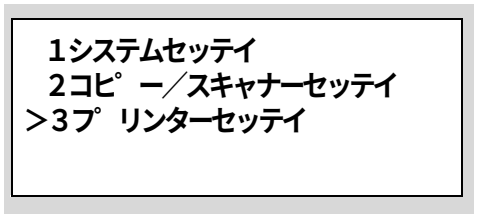
プリンターの動作を確認するために、テスト用のプリントデータをプリントします。用紙サイズを A1 ～ A4 から選択できます。

操作手順

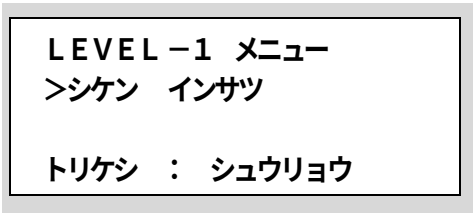


1 操作パネルの〈仕様設定 / メーター確認〉キーを押します。

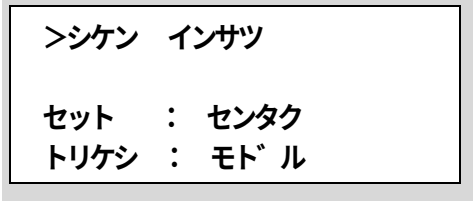
2 [4 シヨウセッテイ] を選択し、〈セット〉キーを押します。



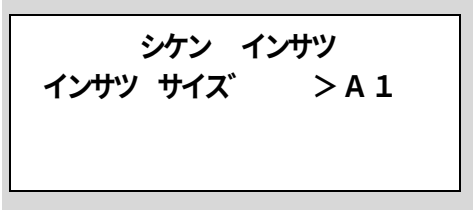
3 [3 プリンターセッテイ] を選択し、〈セット〉キーを押します。



4 〈▼〉〈▲〉キーで［シケンインサツ］を選択し、〈セット〉キーを押します。



5 〈セット〉キーを押します。



6 テストプリントする用紙サイズを〈◀〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。
テストプリントが開始します。

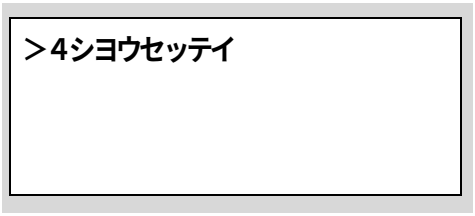
1.6 登録ファイルの管理

登録しているファイルについて次のことができます。

・ファイルの印刷
・ファイルの削除
・登録ファイル一覧の印刷

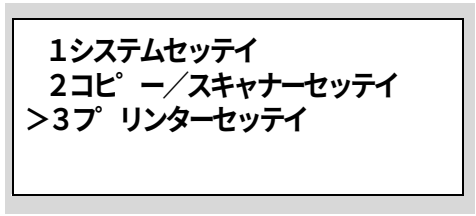
参照 プリンターパネルの詳しい操作については、取扱説明書 /「操作パネルの基本操作」(p8) を参照してください。

操作手順

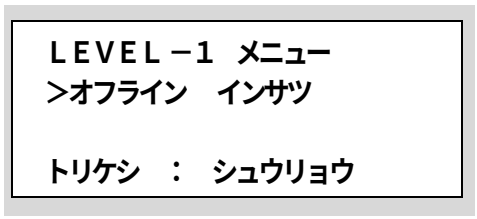


1 操作パネルの〈仕様設定 / メーター確認〉キーを押します。

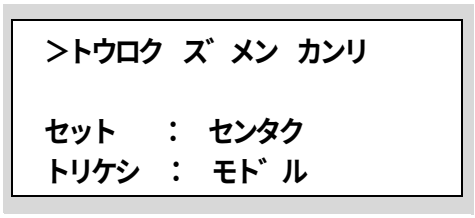
2 [4 シヨウセッテイ] を選択し、〈セット〉キーを押します。



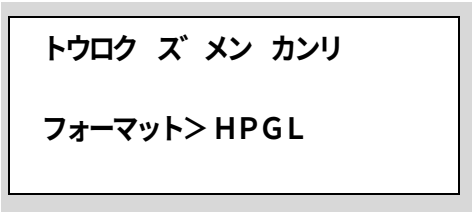
3 [3 プリンターセッテイ] を選択し、〈セット〉キーを押します。



4 〈▼〉〈▲〉キーで［オフラインインサツ］を選択し、〈セット〉キーを押します。



5 〈▼〉キーで［トウロクズメンカンリ］を表示し、〈セット〉キーを押します。



6 〈▼〉〈▲〉キーでデータフォーマットを選択し、〈セット〉キーで確定します。

7 〈▼〉キーを押します。

トウロク ズ メン カンリ
ファイルノ ケンサクヲ
カイシシマス
セット ： ケンサク カイシ

8 〈セット〉キーを押します。
ファイル検索を開始します。

トウロク ズ メン カンリ
ケンサク シュウリョウ
HPGL ファイル
＞インサツ

検索が終わったら、メニューを選択する画面になります。
〈▼〉〈▲〉キーで〈インサツ〉、〈サクジョ〉、〈イチラン〉の中から選択し、〈セット〉キーを押します。

［インサツ］を選択した場合

1. ファイル番号を〈◀ 〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。
2. セットアップ番号を〈▼〉〈▲〉〈◀ 〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。
   選択した番号のファイルがプリントされます。

トウロク ズ メン インサツ
ファイル No. ＞ALL
セットアップ° No. ＞003

［サクジョ］を選択した場合

1. ファイル番号を〈◀ 〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。
   選択した番号のファイルが削除されます。

トウロク ズ メン サクジ ョ
ファイル No. ＞ALL

［イチラン］を選択した場合

1. ファイル番号を〈◀ 〉〈▶〉キーで選択し、〈セット〉キーで確定します。
   選択したファイル一覧がプリントされます。

トウロク ズ メン イチラン
ファイル No. ＞002

第 2 章

イーサネットプリントサービス (UNIX の場合)

2.1 イーサネットプリントサービスの概要

UNIX システムを使用して、DocuWide 2051 にプリントする場合は、ftp コマンドまたは lpr コマンドが使用できます。
この章では、ftp または lpr コマンドの設定方法と、書式の詳細について説明します。

注記 **プリントするファイルは、DocuWide 2051 がサポートしているデータフォーマットである必要があります。DocuWide 2051 がサポートしていないデータフォーマットのファイルを送った場合は、正常にプリントされません。**

2.2 DocuWide 2051 プリンターシステムの登録

DocuWide 2051 にプリントするには、TCP/IP ネットワークに対する DocuWide 2051 プリンターシステムの登録が必要です。

ホストの登録

ネットワーク情報を、NIS や DNS などのネームサービスで管理しているときは、ネームサービスに DocuWide 2051 の IP アドレスと名前 (ホスト名) を登録します。
NIS や DNS などのネームサービスを利用していないときには、ファイルを転送する側 (クライアント側) のデータベースに、DocuWide 2051 の IP アドレスと名前を登録する必要があります。

SunOS 5.X の場合

SunOS 5.X では、ネットワークに接続されたコンピューターを定義するファイル /etc/hosts に、DocuWide 2051 の IP アドレスと名前を登録します。

以下に、「musashi」と「yamato」という 2 台のワークステーションからなるネットワークに、「shinano」というホスト名の DocuWide 2051 を、「zzz.zzz.zzz.zzz」という IP アドレスで、「musashi」の /etc/hosts に登録したときの例を示します。

```
# Sun Host Database
#
# If the NIS is running, this file is only consulted when booting
#
127.0.0.1  localhost
#shinano is DocuWide 2051 plotter
xxx.xxx.xxx.xxx  musashi loghost
yyy.yyy.yyy.yyy  yamato
zzz.zzz.zzz.zzz  shinano
```

リモートプリンターの登録

lpr コマンドを使ってプリントするときには、ホストの登録以外に、クライアント側のワークステーションにリモートプリンターの登録をする必要があります。
登録する情報は、システムによって異なりますが、ワークステーションでの論理デバイス名と、DocuWide 2051 プリントサービスの論理プリンターの対応付けが必要です。

SunOS 5.X の場合

SunOS 5.X の場合は、lpadmin コマンドでプリンターを登録します。

注記 **lpadmin コマンドを使用する場合は、root ユーザーの特権が必要です。**

参照 lpadmin コマンドの詳細については、SunOS 5.X の説明書を参照してください。

• lpadmin コマンドの実行

「shinano」という DocuWide 2051 プリンターシステムを登録する例を示します。
「plt00h」、「plt01h」、「plt02h」というプリンターデバイスを指定すると、「shinano」の論理プリンター「PLT00H」、「PLT01H」、「PLT02H」に送られます。

```
#lpadmin -p plt00h -s shinano!PLT00H
#lpadmin -p plt01h -s shinano!PLT01H
#lpadmin -p plt02h -s shinano!PLT02H
```

注記 **csh を使用している場合は、「！」とそれに続く文字がコマンドヒストリーに置換されてしまうのを防ぐために、「！」の代わりに「\！」と入力してください。**

上記の例では、「plt00h」、「plt01h」、「plt02h」というプリンターデバイスを新たに作成し、設定したことを示しています。
DocuWide 2051 では、各サポートデータフォーマットごとに、論理プリンターを 100 個用意しています。このため、lpadmin コマンドで 100 個のエントリーを設定できます。

補足 SunOS 側で用意している admintool を使って登録することもできます。
設定方法は、[Printer Manager] > [Edit] > [Add Printer] > [Add Access to Remote Printer] を選択し、Printer Name に「PLT00H」といった論理プリンター名、Printer Server に「DW2051」といったホスト名、Print Server OS には「BSD」を指定します。

AIX 3.2.X の場合

AIX 3.2.X の場合は、プリンター固有の属性を定義するファイル /etc/qconfig に、リモートプリンターの登録を行います。

参照 それぞれの操作や内容についての詳細は、AIX 3.2.X の説明書を参照してください。

• /etc/qconfig の編集

次に「shinano」という DocuWide 2051 プリンターシステムを、/etc/qconfig に登録する例を示します。

「plt10h」、「plt20h」というプリンターデバイスを指定すると、「shinano」の論理プリンターに送られます。

```
plt10h:
     host = shinano
     s_statfilter = /usr/lpd/bsdshort
     l_statfilter = /usr/lpd/bsdlong
     rq = PLT10H
     device = dplt10hdplt10h:
     backend = /usr/lpd/rembak
*
plt20h:
     host = shinano
     s_statfilter = /usr/lpd/bsdshort
     l_statfilter = /usr/lpd/bsdlong
     rq = PLT20H
     device = dplt20hdplt20h:
     backend = /usr/lpd/rembak
*
```

注記 DocuWide 2051 プリンターシステムに用意されている論理プリンターは、必ず rq で指定してください。

• プリントキューの起動

設定が終わったら、qadm コマンドを使ってプリントキューを起動します。

MAC フレームフォーマットの設定

イーサネットの MAC フレームフォーマットには、「Ethernet V2.0 」と「IEEE802.3 」の 2 種類があります。

DocuWide 2051 がサポートしている形式は、「Ethernet V2.0 」形式です。ホストで MAC フレームフォーマットを設定する場合は、「Ethernet V2.0 」形式にしてください。

2.3 ftp コマンドによるプリント

ftp コマンドの詳細を説明します。

補足 それぞれの例の中で、太字は入力した文字列を表します。

プリント

ftp コマンドを使ってプリントする手順を説明します。

操作手順

1 クライアント側のワークステーションから、ftp コマンドと、ネットワークに登録されている DocuWide 2051 のホスト名（例：DW2051）を入力します。
接続が完了したことを表すメッセージが表示されます。

```
% ftp DW2051
Connected to DW2051.
220 DocuWide 2051 FTP server ready
Name (DW2051:ftpusr):
```

2 DocuWide 2051 にログインします。DocuWide 2051 に事前に登録してあるユーザー名 (例：ftpusr) を入力します。
パスワードを要求するメッセージが表示されます。

```
Name (DW2051:ftpusr): ftpusr
331 Password required
Password:
```

補足 出荷時には、ftpusr が登録されています。ユーザーは、Print Services on Web を使用して追加することができます。詳しくは、『取扱説明書』の「8.8 システムパラメーターの設定」(p125) を参照してください。

3 手順 **2** でログインしたユーザーのパスワードを入力します。
DocuWide 2051 に登録されているユーザー情報と、ログインしたユーザーのパスワードが同じ場合、ログインを受け付けたことを表すメッセージが表示されます。

```
Password:
230 User logged in
ftp>
```

補足 出荷時には、ユーザー ftpusr のパスワードは、「ftpusr」に設定されています。

4 論理プリンター（例：plt00h）を指定します。cd サブコマンドを用いて、論理プリンター名を入力します。
論理プリンターを設定したことを表すメッセージが表示されます。

```
ftp> cd plt00h
250 Changed directory to "/ata0-p1/plt00h"
ftp>
```

5 データの形式を指定します。HPGL データをプリントするときは ASCII サブコマンドを、それ以外をプリントするときは bin サブコマンドを入力します。
設定されたデータ形式が表示されます。

```
ftp> ascii
200 Type set to A, ASCII mode
ftp>
```

6 send または put サブコマンドを用いて、プリントするファイル名（例：kikai_01.hp）を入力します。
転送するポートを設定したことを表すメッセージが表示されます。
ファイル名を知らせるメッセージ、転送したデータ量と時間を表すメッセージは、クライアント側のアプリケーションによって内容が異なります。

```
ftp> send kikai_01.hp
200 Port set okay
150 Opening ASCII mode data connection
226 Transfer complete
local: kikai_01.hp remote: kikai_01.hp
17720 bytes sent in 0.14 seconds (1.2e+02 Kbytes/s)
ftp>
```

7 終了を指定します。bye サブコマンドを入力します。
ftp コマンドの終了を表すメッセージが表示されます。

```
ftp> bye
221 Bye...see you later
%
```

その他のサブコマンド

ftp のサブコマンドについて説明します。

ascii 転送するデータの形式を ASCII に設定します。

bin 転送するデータの形式を binary に設定します。

bye ftp 処理を終了します。

cd 論理プリンターを指定します。

dir コンソールパネルから設定した論理プリンターを表示します。
ただし、DocuWide 2051 で何も設定されていない場合は、00 番論理プリンターだけが表示されます。

ls コンソールパネルから設定した論理プリンターを表示します。
ただし、DocuWide 2051 で何も設定されていない場合は、00 番論理プリンターだけが表示されます。

mput 指定した複数のファイルを、対話形式で DocuWide 2051 へ転送するように指示します。ただし、存在する論理プリンター以外には指示ができません。

open クライアント側のワークステーションと DocuWide 2051 を接続します。

put 指定したファイルを DocuWide 2051 へ転送します。ただし、存在する論理プリンター以外には指示ができません。

pwd 現在指定されている論理プリンター名を表示します。

send 指定したファイルを DocuWide 2051 へ転送します。ただし、存在する論理プリンター以外には指示ができません。

メッセージ一覧

ftp コマンドを使ってプリントするときに表示されるメッセージについて説明します。

```
Can't build data connection
```

状況： データを転送するためのコネクションを開設できません。
対処： しばらく待って、再度実行してください。

```
Can't create control file , please try later
```

状況： STOR コマンドでコントロールファイルを作成できません。
対処： しばらく待って、再度実行してください。

```
Can't create status file , please try later
```

状況： LJ コマンドによるジョブリストを作成できません。
対処： しばらく待って、再度実行してください。

```
Can't open passive connection
```

状況： パッシブモードで新しいソケットを作成できません。
対処： しばらく待って、再度実行してください。

```
Cannot create file "xx" or permission problem
```

状況： そのファイルを作成するためのパラメーターファイルのオープンができません。
対処： しばらく待って、再度実行してください。

```
Command "xx" not understood
```

状況： サポートしていないコマンド（××）を受信しました。
対処： 正しいコマンドを入力してください。

```
Control connection read error
```

状況： FTP コマンドの受信待機中に、制御コネクションにエラーが発生しました。そのため接続を切断しました。
対処： 再度転送する場合は、もう一度接続を行ってください。

```
Data connection error
```

状況： ファイル転送中にデータコネクションにエラーが発生しました。
対処： 再度接続をしてから、もう一度ファイルを転送してください。

```
Directory non existent or syntax error
```

状況： 存在しないディレクトリー (論理プリンター) が指定されました。
対処： 正しいディレクトリー (論理プリンター) を指定してください。

```
Error in input file
```

状況： ファイル転送中に、出力するファイルにエラーが発生しました。
対処： 再度接続をしてから、もう一度ファイルを転送してください。

```
File "xx" not found or permission problem
```

状況： ls コマンドで指定した論理プリンターに対応するパラメータファイルのオープン、または読み込みに失敗しました。
対処： しばらく待って、再度実行してください。

```
Insufficient storage space in system , please try later
```

状況： ハードディスクがいっぱいのため、転送できません。
対処： ハードディスクに空きができるまで待ってから、転送を再開してください。

```
Invalid command
```

状況： 無効なコマンドを受信しました。
対処： 正しいコマンドを転送してください。

```
Job queue is full, please try later
```

状況： ジョブのキューがいっぱいのため、データの受信を受け付けられません。
対処： しばらく待って、再度実行してください。

```
Local resource failure : DocuWide 2051 is busy
```

状況： システムが過負荷の状態にあるため、データ転送を受け付けることができません。

対処： 用紙切れ、紙づまりなどをチェックし、しばらく待ってから再送してください。頻発するようであれば、DocuWide 2051 の再立ち上げを行ってください。

```
Local resource failure : ReceiveCmplt status
```

状況： ファイル転送に失敗しました。

対処： しばらく待って、再度実行してください。

```
Local resource failure : ReceiveMComp
```

状況： ファイル転送終了のメッセージの受信に失敗しました。

対処： しばらく待って、再度実行してください。

```
Local resource failure : ReceiveMId
```

状況： ファイル転送許可のメッセージの受信に失敗しました。

対処： しばらく待って、再度実行してください。

```
Local resource failure : SendMComp
```

状況： ファイル転送終了のメッセージの送信に失敗しました。

対処： しばらく待って、再度実行してください。

```
Local resource failure : SendMId
```

状況： ファイル転送開始のメッセージの送信に失敗しました。

対処： しばらく待って、再度実行してください。

```
Local resource failure : please start queuing
```

状況： キューイングがストップしているので、ファイルの転送を受け付けられません。

対処： キューイングをスタートしてから、プリントを再度実行してください。

```
Login failed
```

状況： ユーザー名とパスワードが一致しませんでした。
対処： 正しいユーザー名とパスワードでログインし直してください。

```
No file found or invalid directory or permission problem
```

状況： LIST コマンドでディレクトリーのオープンに失敗しました。
対処： しばらく待って、再度コマンドを転送してください。

```
Parameter not accepted
```

状況： TYPE コマンドで ASCII、Binary 以外が指定されました。
対処： ASCII または Binary を指定してください。

```
Syntax error : Please specify file structure only
```

状況： STRU コマンドで File structure 以外が指定されました。
対処： File structure を指定してください。

```
Syntax error : Please specify representation type
```

状況： TYPE コマンドで転送タイプが指定されていません。
対処： 正しいタイプを指定してください。

```
Syntax error : Please specify send file name
```

状況： STOR コマンドでファイル名が指定されていません。
対処： 正しいファイル名を指定してください。

```
Syntax error : Please specify stream mode only
```

状況： MODE コマンドで Stream mode 以外が指定されました。
対処： Stream mode を指定してください。

```
Timeout : closing control connection
```

状況： FTP に対して規定時間内に何も転送されなかったため、接続を切断しました。
対処： 再度転送する場合は、もう一度接続を行ってください。

```
Unimplemented TYPE x
```

状況： サポートしていないタイプによる転送が指示されました。

対処： TYPE コマンドで「Image(Binary)」または「ASCII」を指定してください。

```
User  "xx" is not existed , need account for login
```

状況： 登録されていないユーザー名でログインされました。

対処： 登録されているユーザー名でログインしてください。なお、出荷時にはユーザー名として ftpusr だけが登録されています。

```
USER and PASS required
```

状況： USER、PASS コマンドで、ユーザー名やパスワードが指定されていません。またはログインせずに各種コマンドが転送されています。

対処： 登録されているユーザー名 / パスワードでログインし直してから、再度実行してください。

2.4 lp/lpr コマンドによるプリント

各コマンドの詳細を説明します。

補足 それぞれの例の中で、太字は入力した文字列を表します。

プリント（lpr コマンド）

lpr コマンドを使ってプリントする手順を説明します。

書式

lpr [-P< 論理プリンター名 >] [-#< コピー部数 >] [-s] < ファイル名 >

-P< 論理プリンター名 >

P に続けて (スペースを入れずに) 論理プリンター名を指定すると、指定した論理プリンターに出力されます。
省略すると、lp という論理プリンターが選択されます。

-#< コピー部数 >

コピー部数を 1 ～ 99 の数値で指定します。100 枚以上を指定すると、メッセージが表示され、その指定はキャンセルされます。
省略すると、1 部出力されます。

-s

ファイルをスプールエリアに格納せずに、シンボリックリンクにより転送を行います。

補足 上記以外の lpr のオプションは無視されます。

使用例

lpr コマンドでプリントする手順は、次のとおりです。

例 1　論理プリンター「 plt00h 」にファイル「 drawa.hpgl 」を 1 部出力します。

```
% lpr -Pplt00h drawa.hpgl
```

例 2　論理プリンター「plt00h」に、ファイル「drawb.hpgl」とファイル「drawc.hpgl」を 2 部ずつ出力します。

```
% lpr -Pplt00h -#2 drawb.hpgl drawc.hpgl
```

例 3　論理プリンター「plt01h」にファイル「 drawd.hpgl 」を 1 部出力します。

```
% lpr -Pplt01h drawd.hpgl
```

例 4　論理プリンター「plt02h」に、ファイル「drawe.hpgl」とファイル「drawf.hpgl」を 1 部ずつ出力します。

```
% lpr -Pplt02h drawe.hpgl drawf.hpgl
```

プリント（lp コマンド）（SunOS 5.x の場合）

lp コマンドを使ってプリントする手順を説明します。

書式

lp [-d < 論理プリンター名 >] [-n < コピー部数 >] [-c] < ファイル名 >

-d < 論理プリンター名 >

指定した論理プリンター名に出力されます。

-n < コピー部数 >

コピー部数を 1 ～ 99 の数値で指定します。100 枚以上を指定すると、メッセージが表示され、その指定はキャンセルされます。
省略すると、1 部出力されます。

-c

プリント前に < ファイル名 > のコピーを作成してから、転送を行います。このオプションを省略した場合は、< ファイル名 > のコピーを作成せずに、リンクによって転送を行います。

注記 プリント要求の処理が完全に終了するまで、指定した < ファイル名 > のファイルを削除 / 変更しないでください。

使用例

lp コマンドでプリントする手順は、次のとおりです。

例 1　論理プリンター「 plt00h 」にファイル「 drawa.hpgl 」を 1 部出力します。

```
% lp -d plt00h -c drawa.hpgl
```

例 2　論理プリンター「plt00h」に、ファイル「drawb.hpgl」とファイル「drawc.hpgl」を 2 部ずつ出力します。

```
% lp -d plt00h -c -n 2 drawb.hpgl drawc.hpgl
```

例 3　論理プリンター「plt01h」にファイル「 drawd.hpgl 」を 1 部出力します。

```
% lp -d plt01h -c drawd.hpgl
```

状態表示（lpq コマンド）

lpr コマンドでプリントしたときに、プリント指示をしたファイルの状態を表示する方法について説明します。

書式

lpq [-P< 論理プリンター名 >]

-P< 論理プリンター名 >

P に続けて（スペースを入れずに）論理プリンター名のエントリー名を指定すると、そのエントリーで指定されている論理プリンターで処理中のファイルの状態（ステータス）を表示します。論理プリンター名のエントリー名を省略すると、lp というエントリーの論理プリンターで処理中のファイルの状態を表示します。

使用例

例 1　論理プリンター「plt00h」の状態を表示します。
処理中のファイルがないときには、次のように表示されます。

```
% lpq -Pplt00h
no entries
%
```

例 2　論理プリンター「plt01h」の状態を表示します。
DocuWide 2051 にファイル「drawd.hpgl」の転送が終わっていると、次のように表示されます。

```
% lpq -Pplt01h
Job ID  Sent By   Status  Prior.    Document Name  Prt   Size(KB)
123     sekkei1   Queued  Normal    drawd.hpgl     O1H   980

%
```

例 3　論理プリンター「 plt01h 」の状態を表示します。
DocuWide 2051 にファイル「 drawd.hpgl 」の転送が終わり、次のジョブを受け取っている状態では、次のように表示されます。

```
% lpq -Plt01h
Job ID  Sent By   Status    Prior.  Document Name  Prt  Size(KB)
123     sekkei1   Queued    Normal  drawd.hpgl     O1H  980
124     Unknown   Receiving Normal  Unknown        O1H  Unknown
%
```

例 4　論理プリンター「 plt01h 」の状態を表示します。
DocuWide 2051 にファイル「 drawa.hpgl 」と「 drawb.hpgl 」の転送が終わり、ファイル「 drawa.hpgl 」をプリントしています。
また、ファイル「 drawe.hpgl 」、「 drawf.hpgl 」、「 drawg.hpgl 」がクライアント側のキューに入っていて、転送を待っています。

```
% lpq -Plt01h
Job ID  Sent By   Status    Prior.  Document Name  Prt  Size(KB)
   123  sekkei1   Printing  Normal  drawa.hpgl     O1H  980
   124  kikai2    Queued    Normal  drawb.hpgl     O1H  5963

musashi: sending to shinano
Rank    Owner     Job     Files
1st     kikai2    416     drawe.hpgl
2nd     kikai2    417     drawf.hpgl
%
```

(補足)「Job ID Sent By Status Prior. Document Name Prt Size(KB) 」で始まる情報は、DocuWide 2051 側の状態を表示しています。
「musashi: sending to shinano」、「Rank Owner Job Files Total Size」などで始まる情報は、クライアント側の状態を表示しています。
クライアント側のジョブ ID と DocuWide 2051 側のジョブ ID は、それぞれ別々に割り当てられています。

取り消し（lprm コマンド）

ネットワークからプリント指示をしたファイルに対して、プリントを取り消す方法について説明します。

書式

lprm [-P< 論理プリンター名 >] < ジョブ ID>

-P< 論理プリンター名 >

P に続けて（スペースを入れずに）論理プリンター名を指定すると、指定された論理プリンターで処理中のプリントを取り消すことができます。省略すると、lp という論理プリンターで処理中のプリントを取り消します。

< ジョブ ID> 指定されたジョブ ID のプリントを取り消します。なお、ジョブ ID は状態表示（lpq コマンド）で表示されます。省略すると、取り消すことができるすべてのプリントを取り消します。

補足 クライアント側のジョブ ID と DocuWide 2051 側のジョブ ID は、それぞれ別々に割り当てられます。

使用例

例 1　論理プリンター「plt01h」の状態を表示し、ジョブ ID「124」のプリントを取り消す手順は、次のようになります。

```
% lpq -Plt01h
Job ID  Sent By   Status    Prior.  Document Name  Prt  Size(KB)
   123  sekkei1   Printing  Normal  drawa.hpgl     O1H  980
   124  kikai2    Queued    Normal  drawb.hpgl     O1H  5963

musashi: sending to shinano
Rank    Owner     Job     Files
1st     kikai2    416     drawe.hpgl
2nd     kikai2    417     drawf.hpgl
% lprm -Plt01h 124
job 124 dequeued
%
```

例 2　論理プリンター「plt01h」の状態を表示し、ジョブ ID「123」のプリントを取り消す手順は、次のようになります。この場合、すでにプリント中のため、取り消しができません。

```
% lpq -Pplt01h
Job ID  Sent By   Status    Prior.  Document Name  Prt  Size(KB)
   123  sekkei1   Printing  Normal  drawa.hpgl     O1H  980
   124  kikai2    Queued    Normal  drawb.hpgl     O1H  5963

musashi: sending to shinano
Rank    Owner     Job     Files
1st     kikai2    416     drawe.hpgl
2nd     kikai2    417     drawf.hpgl
% lprm -Pplt01h 123
job 123 can not be dequeued
%
```

例 3　論理プリンター「plt01h」の状態を表示し、クライアントのキューに入っているジョブ ID「417」のプリントを取り消す手順は、次のようになります。

```
% lpq -Pplt01h
Job ID  Sent By   Status    Prior.  Document Name  Prt  Size(KB)
   123  sekkei1   Printing  Normal  drawa.hpgl     O1H  980
   124  kikai2    Queued    Normal  drawb.hpgl     O1H  5963

musashi: sending to shinano
Rank    Owner     Job     Files
1st     kikai2    416     drawe.hpgl
2nd     kikai2    417     drawf.hpgl
% lprm -Pplt01h 417
dfA417musashi dequeued
dfB417musashi dequeued
cfA417musashi dequeued
%
```

例 4　論理プリンター「plt01h」の状態を表示し、クライアントのキューに入っているジョブ ID「416」のプリントを取り消す手順は、次のようになります。
クライアントのキューに入っているジョブを取り消す操作が終わらないうちに、DocuWide 2051 へのファイルの転送が完了してしまうと、プリントの取り消しができません。このときは、もう一度 DocuWide 2051 の状態を表示し、論理プリンターのジョブ ID を確認してから、プリントの取り消しを行います。

```
% lpq -Pplt01h
Job ID  Sent By   Status    Prior.  Document Name  Prt  Size(KB)
   123  sekkei1   Printing  Normal  drawa.hpgl     O1H  980
   124  kikai2    Queued    Normal  drawb.hpgl     O1H  5963
musashi: sending to shinano
Rank    Owner     Job     Files
1st     kikai2    416     drawe.hpgl
2nd     kikai2    417     drawf.hpgl
%  lprm -Pplt01h 416
%
%  lpq -Pplt01h
Job ID  Sent By   Status    Prior.  Document Name  Prt  Size(KB)
125     kikai2     Queued   Normal  drawd.hpgl     O1H  1980
%
%  lprm -Pplt01h 125
Job 125 dequeued
%
```

メッセージ一覧

lpr コマンドを使ってプリントするときに、表示されることがあるメッセージについて説明します。なお、これらのメッセージは、クライアント側のワークステーションが出力しているため、システムによって異なります。

```
Cannot create /usr/spool/pltXXX/.seq
```

状況： クライアントの lpd デーモンが、制御用のファイルを作れませんでした。
対処： スプールディレクトリーの確認を行ってください。

```
Copy file is too large
```

状況： データが大きすぎて、スプールディレクトリーに格納できませんでした。
対処： スプールディレクトリーの領域を大きくするか、「-s」フラグを付けて、シンボリックリンクで lpr コマンドを実行してください。

```
XXprinter:Jobs queued, but cannot start daemon
```

状況： クライアントの lpd デーモンが起動できません。
対処： lpc コマンドで再起動してください。

```
XXprinter:Printer queue is disabled
```

状況： キューが停止しています。
対処： lpc コマンドで再起動してください。

```
XXprinter:Unknown printer
```

状況： システムに登録されていないプリンターが指定されました。
対処： /etc/printcap の登録を確認してください。

```
jobXX can not dequeue
```

状況： プリントサービス側のキュー待ちのジョブ番号 XX を削除できませんでした。
対処： 指定のジョブが、すでにキュー待ちから処理中になっている場合があるので、lpq で確認してください。

```
PLTXX can not dequeue
```

状況： プリントサービス側の論理プリンターPLTXX のジョブを削除できませんでした。

対処： 指定のジョブが、すでにキュー待ちから処理中になっている場合があるので、lpq で確認してください。

```
connection busy
```

状況： データを転送するためのコネクションを開設できませんでした。

対処： 対処の必要はありません。プリントサービス側は、10 セッションのデータ転送要求を受け付けます。10 セッションを超えると、このメッセージを表示します。通常は、クライアント側で再送処理を行います。

付　録

付録1　コネクター仕様

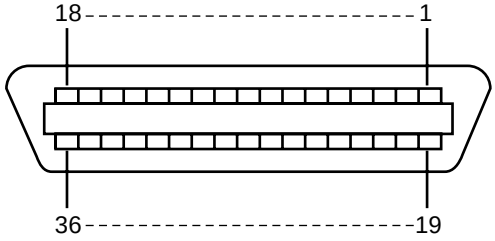
RS232C ピンアサイン

PIN No.			信号名	配線の有無
ホスト側	プリンター側			
	ストレートケーブル	クロスケーブル		
1	1	7,8	CD	○
2	2	3	RD	○
3	3	2	TD	○
4	4	6	DTR	○
5	5	5	GND	○
6	6	4	DSR	○
7	7	1	RTS	○
8	8	1	CTS	○
9	9	-	RI	-

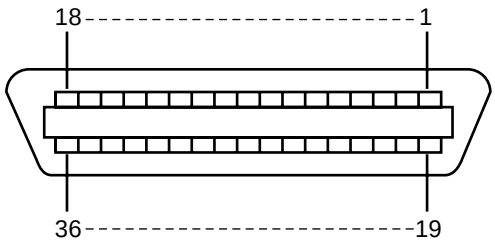
補足 「-」は、配線されていません。両端ともオスピンになっています。

セントロニクスピンアサイン

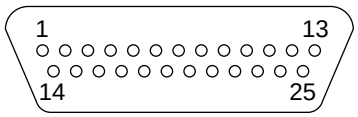
プリンター側（36 ピン アンフェノールタイプ）

端子番号	信号名	端子番号	信号名	ピンコネクション
1	Busy	19	GND	
2	Select	20	GND	
3	nAck	21	GND	
4	nFault	22	GND	
5	Perror	23	GND	
6	Data 1	24	GND	
7	Data 2	25	GND	
8	Data 3	26	GND	
9	Data 4	27	GND	
10	Data 5	28	GND	
11	Data 6	29	GND	
12	Data 7	30	GND	
13	Data 8	31	GND	
14	nlnit	32	GND	
15	nStrobe	33	GND	
16	nSelectln	34	GND	
17	nAutoFd	35	GND	
18	-	36	Peripheral Logic High	

ホスト側 （36 ピン アンフェノールタイプ）

端子番号	信号名	端子番号	信号名	ピンコネクション
1	nStrobe	19	GND	
2	Data 1	20	GND	
3	Data 2	21	GND	
4	Data 3	22	GND	
5	Data 4	23	GND	
6	Data 5	24	GND	
7	Data 6	25	GND	
8	Data 7	26	GND	
9	Data 8	27	GND	
10	nAck	28	GND	
11	Busy	29	GND	
12	Perror	30	GND	
13	Select	31	nlnit	
14	nAutoFd	32	nFault	
15	-	33	-	
16	Logiv GND	34	-	
17	Chassis GND	35	-	
18	Peripheral Logic High	36	nSelectln	

ホスト側 （25 ピン D-SUB タイプ）

端子番号	信号名	端子番号	信号名	ピンコネクション
1	DATA・STB	14	NC	
2	DATA 1	15	FAULT	
3	DATA 2	16	NC	
4	DATA 3	17	NC	
5	DATA 4	18	GND	
6	DATA 5	19	GND	
7	DATA 6	20	GND	
8	DATA 7	21	GND	
9	DATA 8	22	GND	
10	ACK	23	GND	
11	BUSY	24	GND	
12	PE	25	GND	
13	SELECT			

索引

英数字

90°カイテン 17, 18
Ack Mode 3
ADAPTED 19
ANYTHING 34
AUTO 31, 32
BaudRate 2
BEVEL 11
B系列 9
CALSオプション 17, 43
DMAタイムアウト 3
DPI 16
EOPコマンド 29
EOPコマンドショリ 48
EOPタイムアウト 3
EXTEND 11
FILM 34
FIRST 20
FIXED 19
ftpコマンド 66, 70
FXキホンペン 14
FXキホンペン（ハンイ） 15
FXペンシヨウ 13
FXペンハバ 14
H-Shake 2
IP AREA 19
IW AREA 19
L-LEFT 22
LONG SIZE 36
lpqコマンド 82
lprmコマンド 84
lprコマンド 66, 79
lpコマンド 81
L-RIGHT 22
MITER 11
MIX 32
MIX2 32
ORDINARY 34
OTHER 32
PSコマンド 29
RASTER 20
ROUND 11
SQUARE 11
STANDARD SIZE 36
TIFFオプション 16, 42
TRACING 34
TRIANGLE 11
U-LEFT 22
UNJOINT 11
U-RIGHT 22

あ

イチアワセマーク 27
イロ 10, 12, 14, 15
インサツイロシテイ 49
インサツジョウケン 17, 43
インサツマイスウ 30, 49
ウエヨハク 33
エラーメッセージ 21
エラーログ 54
オフセット 18
オフラインインサツ 62

か

解像度 16
カイゾウド 16
カイテンインサツ 28, 47
カイテンユウコウ 17
カット紙 26
キジュン 19
キホンペン 10, 40
キホンペン（ハンイ） 12, 41
ギャクジュン 16
キョウゾウ 17, 18
コネクター 90

さ

サイズ指定 31, 32
サイズマッピング 24
サイズユウセンモード 36, 51
シケンインサツ 61
シタヨハク 33
ジドウシュクシャク 17, 18
自動マッピング 24
シュウタン 10, 12, 14, 15
終端処理 11
シュツリョクオウトウ 3

出力サイズ 32
シュツリョクユウセンド .....28，47
シュツリョクレンケツスウ.....32，50
シュルイ 34
ジョブログ 54
ショリゲンゴ 41
処理言語 15
ショリゲンゴ 15
シワケホウホウ 16
シンクロカット 32
スキップコマンド 48
スキップコマンドショリ 29
ストップビット 2
セツゾク .....10，12
接続部処理 11
設定内容のプリント 5
セットアップインサツ 53
ゼンゴヨハク 33
センタリング 19
センタリングキノウ .....18，19
セントロニクス 3
線の色..... 10，12，14，15
線の終端処理 .....10，12，13，14，15
線の接続部処理..... 10，12，13
線の幅..... 10，12，14

た

通信速度 2
通信パラメーター 2
テイギサイズ 34
データビット 2
テストプリント 61
デフォルトパーサー .....2，3
デフォルト論理プリンター..... 52

な

ナガサ..... 34
ニュウリョクレンケツスウ..... 49
入力図面サイズ..... 31
ニュウリョクレンケツスウ..... 31
入力ログ 54

は

ハクショクビョウガ 30
破線のスタイル..... 13
ハバ.....10，12
パリティビット..... 2
ハンドシェイク 2
日付メッセージ 21
プリンターシステム.....67
プリントする範囲 18
プリントの優先度 28
プリント用メモリー.....35
プロットエリア ..... 18，44
ブンカツインサツ ..... 27，46
ブンリハバ.....27
ページ No. 27
ページクギリ 3
ペーパーマージン ..... 23，45
ペン No. 12
ペン No. ..... 10，14，15
ペンオプション ..... 16，42
ペン仕様.....13
ペン属性..... 10，14
ペン属性（範囲）..... 12，15
ペンハバ.....41
ペンハバヘンコウ 16

ま

マージン.....23
メッセージオプション ..... 21，45

や

ユーザー定義サイズ.....34
ユーザーテイギサイズ 34
ユーザテイギサイズ.....51
ユウセンド.....28
ユウセンモード 36
ヨウシケイレツ ..... 9，40
ヨウシサイズ 31
ヨウシシュベツ 51
用紙種別.....34
ヨウシシュベツ 34
ヨウシマッピング.....46
ヨハク 27

ら

ラベルメッセージ 21
レンケツスウ ..... 31，33
ロール紙..... 26，32
ログの管理.....54
論理プリンターの設定 7
ロンリプリンタバンゴウ ..... 2，3

マニュアルコメント用紙

本書をより使いやすいものとするために、皆様からの貴重なご意見（説明不足、間違い、誤字、誤植、ご要望など）をお待ちいたしております。ご記入に際しましては、マニュアルに関することのみ具体的にご指摘くださるようお願いいたします。

●マニュアル名	DocuWide 2051/DocWide 2051MF 補足説明書	●帳票 No.	ME3284J1-1
●ご氏名		●会社名	
●所属部門		●電話番号	[内線]
●所在地			

●ページ	●行	●内容へのご指摘／ご要望

●富士ゼロックス記入欄		
●記事	●受付 No.	●受付担当印

[折り込み線]

富士ゼロックス（株）社内メール扱い

送付先：

HID 開発部
マニュアル グループ 行

担当社員：

事業部	営業所	課	係
	氏名		

[切り取り線]

[折り込み線]

- ご記入くださいましたら点線の部分で折り込みホチキスなどでとめたうえ、お買い求めの販売店にお渡しください。
- このままで郵便物として投函なさらないようにご注意ください。

保守・操作・回収・修理のお問い合わせは

この商品の保守・操作・回収・修理のお問い合わせは、テレフォンセンター(または販売店)にご連絡ください。

- テレフォンセンターの電話番号は、機械に貼付してあるラベル、またはカードに記載されています。
- ご連絡の際は、ラベル、またはカードに記載されている「機種名」および 「機械番号」をお知らせください。
- 本機を廃却する場合は、弊社販売店またはサービスエンジニアにご連絡ください。

地区テレフォンセンター電話番号

都道府県名（　　）

☎ ＿＿＿＿－＿＿＿＿－＿＿＿＿

※営業・カストマーエンジニアへのお願い：導入時に記入してください。

販売会社カード
もしくは
名刺貼付位置

富士ゼロックスに対するご意見、ご相談などは、お客様相談センターにご連絡ください。

フリーダイヤル 0120-27-4100

（フリーダイヤル受付時間：土、日、祝日を除く 9 ～ 12 時、13 ～ 17 時、東京でお受けします。
ただし、通話地域制限がある内線電話機、および携帯電話機からはご利用になれません。全国通話ができる電話機をご使用ください。）

インターネットホームページで商品情報を提供しています。アクセス先は、http://www.fujixerox.co.jp です。

DocuWide 2051/DocuWide 2051MF 補足説明書

著作者 ― 富士ゼロックス株式会社
発行者 ― 富士ゼロックス株式会社
ヒューマンインターフェイスデザイン開発部

発行年月 ― 2004 年　7 月　第 1 版

（帳票 No:ME3284J1-1）
Printed in Japan